



湖国の感動 未来へつなぐ
わた**SHIGA**輝く国スポ



2025.10
SHIGA
AISHO
ARCHERY

第79回 国民スポーツ大会
アーチェリー競技会

2025年 10.5  >> 10.7 

会場 愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド

JSPGマーク



— 主催 —

公益財団法人日本スポーツ協会 / 文部科学省 / 滋賀県
公益社団法人全日本アーチェリー連盟 / 愛荘町

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャットフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャットフィー

「キャットフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手で「キャットフィー」に教えてもらっています。

「キャットフィー」と「チャットフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。

目 次

あいさつ	1
歓迎のことば	4
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	7
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	8
大会役員	9
競技会役員	13
競技役員	14
総則	15
実施要項	34
競技日程	39
式次第	40
都道府県参加選手一覧表	41
参加選手一覧（監督・選手）	42
立ち順一覧表	45
少年男子組合せ	46
成年男子組合せ	51
少年女子組合せ	54
成年女子組合せ	59
イリミネーション～ファイナルラウンド組合せ表	62
第 78 回国民スポーツ大会総合成績一覧表	66
アーチェリー競技について	67
過去の成績一覧	69
国スポ記録・日本記録・世界記録	83
関係機関・大会関係連絡一覧	84
選手監督用シャトルバス案内	85
競技会場・練習会場案内図	86
協賛企業の紹介	88
記録速報配信サイト	95



あいさつ

公益財団法人日本スポーツ協会

会 長 遠 藤 利 明

約 400 万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第 79 回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年 6 月、14 年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和 21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年から「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年 3 月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あいさつ

文 部 科 学 大 臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっていますところ です。

文部科学省としても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶いたします。

令和7年7月31日



あいさつ

公益社団法人 全日本アーチェリー連盟

会長 世耕 弘成

第79回国民スポーツ大会アーチェリー競技会が「わた SHIGA 輝く国スポ」「湖国の感動未来をつなぐ」スローガンのもと、すべての人が主役となり、夢や感動を共有する大会を目指して、滋賀県愛荘町、愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンドで盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

滋賀県で開催される第79回国民スポーツ大会は、1981年（昭和56年）に開催された第36回大会「びわこ国体」以来44年ぶり2度目の開催となります。

滋賀県は、豊かな自然と歴史、そして人々の温かさに満ちた地です。琵琶湖の輝きのように、ここに集うすべての選手・関係者・観客の皆様が、それぞれの力を発揮し、心を通わせる瞬間が生まれることを心より願っております。

昨年の大会から「国民スポーツ大会」に名称が変わりました。体育からスポーツへ「する・みる・支える」に加え、「つながる・広がる」アーチェリーの魅力を是非この大会を通じて感じていただければ幸いです。

本大会に参加される選手の皆様には、各種大会で優秀な成績を収められ、郷土の誇りを胸に本大会に参加されていることと思います。日頃から心技体にわたり研鑽を重ねられた成果を余すことなく発揮していただき、観客の皆様には、熱い応援で会場を盛り上げていただければ幸いです。

最後に、滋賀県の皆様、そして本日を迎えるにあたり、ご尽力賜りました関係者の皆様や競技会運営に携わるすべての皆様に心からお礼を申し上げ、この大会が成功裡に終了することをこころより祈念いたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会会長

滋賀県知事 三 日 月 大 造

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしてまいりたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ愛荘町実行委員会会長

愛荘町長 有村 国知

第 79 回国民スポーツ大会 わた SHIGA 輝く国スポアーチェリー競技会が、ここ愛荘町において、全国各地から選手・監督ならびに大会関係者をお迎えし盛大に開催されますことを、愛荘町民を代表いたしまして、心より歓迎申し上げます。

「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が様々な場面で主役として輝く大会を目指しています。本大会を通じて、湖国・滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての方々の心に深く刻まれ、明日への活力、未来への希望として受け継がれることを願い、本町におきましても町民一丸となって準備を進めてまいりました。

アーチェリー競技会では、愛荘町産の白米や野菜を使用した豚汁、地酒のふるまいをはじめ、町内の観光地を巡る「国スポ開催記念スタンプラリー」など、御来訪いただける皆様方に“愛荘町らしい心温まるおもてなし”を御用意しております。

選手の皆様方におかれましては、各都道府県の代表として、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、本大会を通じて全国の仲間と交流を深めていただき、多くの感動と記憶に残る素晴らしい競技を納めて頂きますことを心より祈念申し上げます。

さて、愛荘町は、鈴鹿山系からの豊かな清水と自然に恵まれ、国宝「金剛輪寺」をはじめとする寺社や、中山道・愛知川宿などの史跡、国の伝統的工芸品である「近江上布」をはじめとした麻織物、瓶の中に手まりが入った不思議で美しい滋賀県伝統的工芸品「愛知川びん細工手まり」など、歴史と文化に彩られた資源が豊富に存在しております。また、特産品である「秦荘のやまいも」など、食の魅力も充実しております。

是非、この機会に、愛荘町の多彩な魅力を御堪能いただき、再び本町にお越しいただければ幸いに存じます。

結びに、本大会の開催に向け、御尽力と御協力を賜りました関係者の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、本大会の成功ならびに選手の皆様方の御健闘と御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば

滋賀県アーチェリー協会

会長 **岩崎 賢**

湖国の感動 未来へつなぐ 第79回国民スポーツ大会アーチェリー競技会に、全国から多くの選手・監督ならびに役員の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを心から喜び申し上げます。

本大会の会場は1981年(昭和56年)びわこ国体で、アーチェリー競技会場として開催して以来、愛荘町ではアーチェリーの町として普及活動だけでなく、選手育成・強化に積極的に取り組んでおられます。

各種スポーツの国際大会でも日本選手の活躍に注目が集まるなど、国をあげてスポーツ活動への関心が高まっています。各都道府県のトップ選手のみなさんは次世代のスポーツ界を担うアスリートとして期待されています。将来を担う選手諸君が、仲間と競い合う中で強い心で挑戦し、自らの技量を高め、「わた SHIGA 輝く国民スポーツ大会」にしていきたいと思います。

夢・希望・感動をすべての選手にお届けし、応援する人、支える人すべての人が主役として輝ける大会になるよう運営してまいります。

最後になりましたが、本大会開催にあたり地元愛荘町をはじめ、滋賀県・公益社団法人全日本アーチェリー連盟・公益社団法人滋賀県スポーツ協会をはじめ関係各位の皆様方、そして大会を支えていただく地域やボランティアの皆様方に厚くお礼申し上げます。また選手、指導者そして関係者にとって、「参加して良かった」と感じられ、ベストを尽くされることを祈念申し上げ、歓迎のことばとさせていただきます。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー(以下「大会会長トロフィー」という。)は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定

大会役員

2025年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子			
会長	遠藤 利明			
副会長	益子 直美	田中 不二夫	三宮 恵利子	森岡 裕策
	室伏 広治	三日月 大造	河本 英典	
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗	橋本 聖子	安西 孝之
	岡崎 助一	越川 均	坂元 要	勝田 隆
	室伏 由佳	村松 さやか	湯川 和之	植田 実
	櫻井 由香	鹿島 丈博	吉岡 成子	石井 砂織
	笠師 久美子	飯塚 悟	久保 正美	浦 美奈子
	木平 芳定	中嶋 実	小寺 洋	桐木 陽子
	旗生 康之	池田 めぐみ	工藤 保子	久保 直生
	藤田 裕司	藤原 誠	室城 信之	金子 日出澄
	貝瀬 智洋	森 晃	土橋 登志久	石丸 元国
	多氣 洋平	井崎 洋志	鬼頭 有紀子	長谷川 洋子
	吉田 長寿	齋木 尚子	多賀 恒雄	安藤 淳
	上治 丈太郎	湧永 寛仁	上原 絵美	佐藤 健司
	馬場 美香	山口 宏	南 和文	宮永 美寿津
	千田 健一	中里 壮也	岡本 友章	大野 淳
	加藤 出	田村 恒彦	蒔田 実	山崎 勝洋
	浅見 敬子	山口 徹正	田中 伸周	村田 利衛
	建部 彰弘	市野 保己	丸石 博	中村 ゆり子
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦	木村 博美	井上 弘
	今川 啓一	近藤 重和	池谷 正成	大澤 明美
	古城 資久	小野 賢二	園山 和夫	中山 俊行
	田中 徹	知念 かおる	出口 弘之	田邊 哲人
	城門 政文	前川 恵	上杉 晃央	布村 幸彦
	茂野 直久	生島 典明	大沢 陽子	谷藤 節雄
	熊谷 幸一	千葉 玲佳	奥山 雅信	酒井 祐一
	藤田 知己	北條 俊明	田子 昌之	新井 彰
	山崎 成夫	塩見 清仁	田名部 高雄	井出 仁
	今西 博一	中村 宏平	松本 智広	森山 喜博
	南部 則雄	福永 秀樹	高橋 繁浩	山本 健次
	増田 和伯	猪飼 敏之	山本 誠三	松本 恭幸
	船田 一彦	奥田 晃	横尾 英治	小西 慎太郎

近藤 一幸
田中 稔
藤本 武
藤本 格
大河原 嘉朗
小菅 司
寺澤 正孝
金城 泰邦
茂里 毅孝
大岡 敏孝
こやり 隆史
目片 信悟
伊藤 定勉
有森 裕子
坂田 東一
藤田 直志
砂岡 良治
豊田 章男
村井 満
町田 幸男
番匠 幸一郎
寶 馨
鶴田 有司
福田 富一
山本 博浩
馳 浩
田口 義隆
西脇 隆俊
宮崎 泉
苅田 知英
大塚 岩男
甲斐 隆博
玉城 デニー

堂本 ひさ美
馬越 祐希
小柳 勝彦
岩元 幸成
川上 隆弘
宇津木 妙子
山口 純子
赤松 健行
浅野 敦子
嘉田 由紀子
斎藤 アレックス
村井 泰彦
草野 聖地
鈴木 大地
三須 和泰
三屋 裕子
金丸 恭文
千 玄室
永谷 喜一郎
大野 正次
久保 素子
荒川 裕生
吉村 美栄子
遠藤 祐司
岡田 伸浩
杉本 達治
中谷 多加二
高橋 知史
林 昭男
村岡 嗣政
服部 誠太郎
麻生 益直

河村 祐一
青木 章泰
辛木 秀子
平良 朝治
佐藤 廣子
菊 幸一
武部 新宏
増子 宏子
有村 治子
北野 裕子
武村 展英
北村 嘉英
杉浦 和人
宮本 恒靖
仲間 達也
富山 英明
安道 光二
中村 真一
真砂 威成
世耕 弘樹
丹羽 秀也
小谷 知士
北野 元裕
大角 英世
花野 剛章
高村 秀彦
齋藤 元也
丸山 達純
後藤 正義
山 口祥義
日隈 俊郎

渡邊 浩三
城戸 英敏
宮成 康蔵
藤原 正樹
奈良 隆
小林 久美
野中 厚
矢野 和彦
上野 賢一郎
小寺 裕雄
宮本 和宏
小椋 正清
永浜 明子
深澤 祐二
川合 俊弘
馬場 益也
河田 正也
牧島 かれん
土田 雅人
笹川 善弘
岩城 光英
達増 拓也
大井川 和彦
熊谷 俊人
新田 八朗
阿部 守一
伊藤 歳恭
池田 誠也
越宗 孝昌
榎田 實
大石 賢吾
塩田 康一

参 与

子彦正二仁一則誠明宏人一之守人美子晃成史治久夫努伸祥太子宣雄和雄道崇誠和治
 住政芳隆榮幸誠義武成真和曉久一高加秀公博弘井
 杉江村島野中波田沢井村田原内島中浦田善良井林幸とし弘孝田垣崎田橋藤井
 大今奥川桑柴白田富野木土森中岡藤池田森松西藤市涌寺竹石草富大田稻田吉佐加安

彦也和史代行二太郎史千則子惠也義一義健啓知寿寛昭文司幸治哉弘弘子夫也樹典
 康也和史代行二太郎史千則子惠也義一義健啓知寿寛昭文司幸治哉弘弘子夫也樹典
 井崎東村井田防松川木重田村田木見村津堂智博貴良恒智美
 赤岩海駒柴周田中節森窪園中中正原淺竹今有甲藤岸金山川三佐崎
 辻笠松出田小西

俊一人惠次紀隆子樹勝苗春利人誠二理貴也二司弘明順保郎稔恵子
 國文誠真佳鉄利成啓秀早千忠信純裕航純清昌英太忠千
 村河藤田口沼成沢田村田吹川西永田本畑川田
 有小加桐佐清水菅谷中本東野松山伊保北小岩角寺堤野武山上田市太

加藤三ヶ宇山佐
 藤田野下野
 光礼栄博
 国一武次之

委 員 長
 副委員長
 総務委員

委 員

平野了
松本康夫
渡邊圭太郎
寺澤淳
中梶秀則
鈴木章広
田口大祐
菅原正幸
渡辺久雄
井本亘
吉田由美子
金子裕
政岡航大
寺垣佑介
南野芳広
門久仁裕
加藤雄樹
太田真美
金田貴人
村松達也
杉浦美紀
高橋健二
松本守正
久次米和成
笠井康行
吉野賢一郎
高野瑞洋
須藤勇司
東瀬義人
井上哲勝
竹内俊雅
寺崎雅巳
渡嘉敷通之

高橋聖一
福士幸洋
佐久間裕司
黒川重男
安藤正美
川口巖
平井宏治
高橋昇
三井千壽
関根明子
杉本好二
野口友里
坊百花
田中遥大
池本佳子
清水直子
鈴木敦規
高野正暢
新保克行
井澤隆司
藤田宗浩
吉村綾子
松田孝行
高尾鷺一成
横山美哉
遠藤信司
角田真洋
酒井雅彦
今後元守
松井健治
荒木健吉也
綾部吉也

吉村政弘
栗原崇
品田奥義
舟喜信生
加藤憲二
和田潔
岸川剛之
長南哲生
鈴木信吾
中山二三男
東野眞理子
品治恵子
小河原百映
宇高章広
横江弘昭
高井和紀
瀬谷尚男
岩埜直史
戒田由香里
林剛史
曾我純也
中嶋新也
田岡英幸
辻山度良
松山元尚
千葉雅也
柄澤宏稔
碓井守弘
沼田直彦
吉岡公一
平江公一

若月等
細野光史
濱野勉
高野修
宮川良輔
岡泉茂
西原斗司男
衛藤敬輔
山中博史
越前浩司
川口雅三
富澤佑也
田口雅紀
近藤潤輝
沼波茂紀
見田大輔
大貫祐紀
深谷晶香
児玉晴伸
稻葉哲也
木原康博
前田英史
河田義朗
前濱昌宏
宮城直人
菅間裕晃
竹内延和
武田知己
田部長右衛門
刈谷好孝
黒木淳一郎

競 技 会 役 員

(順不同・敬称略)

競技会名誉会長 有 村 国 知

競 技 会 会 長 世 耕 弘 成

競技会副会長 上 月 良 祐 松 丸 喜 一 郎 岩 崎 賢 宇 野 久 七 郎 陌 間 秀 介

競 技 会 顧 問 久 保 允 誉 飯 塚 十 朗 末 田 実 島 田 晴 男 宮 崎 利 帳
穂 苅 美 奈 子 松 木 謙 公 手 塚 義 浩 鈴 木 俊 一 小 野 寺 寛 一
向 島 偕 後 藤 正 博 渡 邊 正 仁 中 川 喜 久 治 山 田 美 也 子
岩 井 均 松 崎 慶 喜 佐 々 木 克 敏 松 本 洋 平 加 藤 元 哉
野 口 英 二 金 子 健 三 村 上 正 之 川 上 浩 紐 野 義 昭
畑 孝 幸 竹 内 良 訓 鈴 木 和 也 田 中 祐 治 田 中 尚 一 郎
石 橋 常 男 宗 清 皇 一 辰 馬 建 仁 橋 本 和 典 杉 原 弘 一 郎
森 山 健 一 延 原 正 浩 北 村 經 夫 森 裕 之 岡 田 理 絵
貞 本 和 彦 西 森 雅 和 加 地 邦 雄 土 井 敏 行 佐 藤 了 志
福 原 俊 明 佐 藤 郁 夫 岡 師 博 規 岩 重 礼 新 城 敦
小 淵 優 子 山 内 守 明 森 野 隆 徳 田 寿

競 技 会 参 与 上 田 太 治 河 村 善 一 久 保 田 正 利 小 菅 久 宣 澤 田 源 宏
高 橋 正 夫 瀧 寸 み 江 竹 中 秀 夫 辰 己 保 外 川 善 正
中 川 喜 代 和 村 田 定 村 西 作 雄 杉 本 甚 治 郎 森 秀 昭
木 津 知 里 黒 川 泰 守 森 野 啓 子 西 村 正 司 山 田 康 義
福 田 俊 男 小 林 忠 道 馬 場 誠 村 田 詩 保 子 北 川 隆 治
南 雄 志 市 田 泰 寛 前 川 為 夫 上 林 俊 明 小 川 勝 弘
近 藤 崇 弘 藤 田 晶 子 平 沼 田 淳 梅 村 真 資 松 尾 武 文
山 本 貴 志 竹 村 一 豊 大 塚 和 子 村 川 英 幸 伊 谷 正 昭
森 嘉 津 夫 智 北 川 知 栄 子 矢 部 隆 宏 小 杉 朝 榮 久 保 田 秀 子
井 口 和 子 堀 内 恵 美 子 珠 久 け い 子 森 野 昭 二 西 澤 基 治
山 本 豊 夫 三 浦 勝 喜 一 松 藤 井 高 明 小 森 治 久 上 川 悟 史
中 見 純 一 紀 中 野 喜 津 夫 藤 西 川 傳 和 森 西 義 則 生 駒 秀 嘉
石 村 美 紀 北 川 三 津 夫 西 川 傳 和 森 西 義 則 生 駒 秀 嘉
木 村 美 紀 北 川 三 津 夫 西 川 傳 和 森 西 義 則 生 駒 秀 嘉

競技会委員長 田 中 伸 周

競技会副委員長 水 谷 徹 也

競 技 会 委 員 岡 野 悟 郎 砂 盛 京 子 桜 木 由 美 子 塩 鮑 泰 啓 中 野 真 希
河 合 徳 之 吉 成 謙 高 坂 幸 美 高 山 樹 里 小 杉 理 加
及 川 万 希 永 尾 嘉 教 菅 辰 原 正 幸 藤 川 貴 久 野 崎 剛
藤 川 進 山 本 修 嗣 杉 本 新 勉 中 井 林 常 克 溪 谷 充
吉 瀧 拓 真 澤 井 裕 之 杉 本 新 勉 中 井 林 常 克 打 谷 桂 子

競 技 役 員

(順不同、敬称略)

競 技 委 員 長	菅 原 正 幸				
競 技 副 委 員 長	永 尾 嘉 教	岩 崎 賢	宇 野 久 七 郎		
上 訴 委 員 長	田 中 伸 周				
上 訴 委 員	岩 崎 賢				
総 務 委 員 長	杉 本 新 也				
総 務 副 委 員 長	溪 充				
総 務 主 任	山 本 修 嗣				
総 務 係	宇 野 洋 紀	渋 谷 樹 里	木 内 る う		
報 道 主 任	富 永 雅 博				
報 道 係	涌 井 努	宮 下 昌 弘	山 本 雅 也	野 村 日 花 里	福 原 綾 乃
	板 倉 梨 璃 花	艦 佳 吾	小 西 勇 人		
審 判 長	小 杉 理 加				
副 審 判 長	山ノ内 祥訓	藤 井 良 明			
審 判 員	小 橋 口 圭 彦	清 水 将 司	丸 谷 武 央	小 川 裕 也	辻 尚 美
	湯 川 輝	川 島 通 生	井 上 剛	笹 尾 茂 寿	伊 藤 泰 克
	山 本 陽 一	高 森 満 雄	酒 匂 正 幸	林 康 弘	入 江 美 智 子
	遠 塚 み どり	村 上 直 美	松 本 保 晴	岩 波 ひ ろ み	花 木 豊 子
	橋 詰 勝 代	羽 根 人 美	北 川 敬 子		
D O S	小 野 寺 長 久				
副 D O S	澤 井 裕 之				
計 時 主 任	菊 井 あ き				
計 時 係	長 谷 川 綾 音				
放 送 主 任	田 中 彩 乃				
放 送 係	里 田 奈 津 希	南 出 麻 衣			
射 場 主 任	中 井 貴 久				
射 場 副 主 任	杉 江 聡	田 中 琉 偉			
練 習 会 場 主 任	若 林 常 克				
練 習 会 場 副 主 任	辰 巳 勉	藤 川 進			
練 習 会 場 係	川 村 雄 仁	中 辻 諒 真	福 田 一 圭		
体 験 コ ー ナ ー	神 省 吾				
記 録 委 員 長	田 中 俊 也				
記 録 副 委 員 長	山 中 盛 生				
得 点 記 録 係	竹 谷 朋 哉	片 岡 陽 大	寺 西 郁 人		
総 合 成 績 計 算 委 員 長	菅 原 正 幸				
総 合 成 績 計 算 委 員	岩 崎 賢				

競 技 補 助 員 ・ 競 技 会 補 助 員

滋賀県立愛知高等学校生徒 滋賀県立大津商業高等学校生徒 滋賀県立草津東高等学校生徒 滋賀県立虎姫高等学校生徒
 滋賀県立八日市南高等学校 愛荘町ボランティアの皆さん

競 技 会 係 員

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ愛荘町実行委員会事務局員 愛荘町職員

大会実施要項

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技（37 競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技（7 競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストラレーションスポーツ（26 競技）

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカラム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技（1 競技）

高等学校野球

2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技（15 市、4 町：計 19 市町）

会 期	会 場 地
2025年9月28日（日） ～10月8日（水） 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日（土） ～9月15日（月） 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※ 水泳、体操、バレーボール（ビーチバレーボール）競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日（日） ～9月25日（木） 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※ 自転車（トラック・レース、ロード・レース）競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（7 市：計 7 市町）

会 期	会 場 地
2025年8月23日（土） ～9月21日（日）	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストレーションスポーツ（13 市、1 町：計 14 市町）

会 期	会 場 地
2025年4月12日（土） ～9月14日（日）	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が 18 歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第 79 回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(イ) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ロ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に 1 年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ハ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ハ)b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023 年開催の特別大会または第 78 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記 3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記 6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

- a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚または離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校

の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時（2025年10月8日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）および女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位
種別	4 人以下	24 点	21 点	18 点	15 点	12 点	9 点	6 点	3 点
	5 人以上 7 人以下	40 点	35 点	30 点	25 点	20 点	15 点	10 点	5 点
	8 人以上	64 点	56 点	48 点	40 点	32 点	24 点	16 点	8 点
種目	—	8 点	7 点	6 点	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

〔注〕 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は 10 点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第 1 位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第 1 位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第 1 位から第 8 位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に 1 枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

- (1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

- (2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

- (3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2025 年 8 月 20 日 (水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025 年 9 月 4 日 (木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6, 0 0 0 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日（金）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。
なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および島根県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日（木）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 AD カードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者には AD カード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ

通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

(1) 環境に配慮した大会の実施

スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。

(2) おもてなしと滋賀の魅力発信

豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。

(3) 誰もが主役として輝ける取組の推進

年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

(1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

(3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記 1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項〔国民スポーツ大会開催基準要項第 8 項第 1 号および第 10 項第 4 号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第 3 項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の 4 月 30 日（冬季大会は前年の 4 月 30 日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1 回につき 2 年以上連続とし、利用できる回数は 2 回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記２ 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第３項－(1)－1－③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記２(1)の場合は転居元、下記２(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記２(1)の場合は転居先、下記２(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会（2024年・パリ）に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者について

は、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞ ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度（小学校は2015年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学して

いる実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 78 回大会または第 79 回大会に参加した者が、第 80 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

- ＜例＞
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

実 施 要 項

1 期 日 2025 年 10 月 5 日(日)から 10 月 7 日(火)まで (3 日間)

種 別	10 月 5 日 (日)	10 月 6 日 (月)	10 月 7 日 (火)
成年男子 少年男子	午前 ※用具検査 (男子種別) 練習 競技 (クオリフィケーション ラウンド)	競技 (イリミネーションラウンド ～セミファイナル)	競技 (ファイナルラウンド) ブロンズメダルマッチ ゴールドメダルマッチ
成年女子 少年女子	午後 ※用具検査 (女子種別) 練習 競技 (クオリフィケーション ラウンド)		

- ※1 用具検査は 10 月 4 日 (土) 13:00～15:00 に競技会場で行う。
10 月 5 日 (日) の用具検査 (男子 8:30～9:00、女子 12:00～12:30) は、10 月 4 日 (土) に未検査のものと再検査のみとする。
- ※2 練習会場は 10 月 4 日 (土) ～7 日 (火) まで愛荘町立中央スポーツ公園アーチェリー場で 8:30～16:00 まで開設する。但し、6 日 (月) は 8:00～16:00、7 日 (火) は 8:30～11:30 とする。
- ※3 10 月 4 日 (土) は、10:00～15:00 までの間、競技会場での練習を認める。

2 会 場 愛荘町 愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド (練習会場 愛荘町立中央スポーツ公園アーチェリー場)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選手	参加都道府県	小計 (選手計)	合計 (選手・監督計)
成年男子	52 名 1 都道府県 2 名以内	3	14	42	280
成年女子		3	14	42	
少年男子		3	24	72	
少年女子		3	24	72	

※ 監督配置数の調整方法

- 参加都道府県に必ず各 1 名を配置する。
- 上記 (1) により配分した人数を 52 名から差し引いて得られた人数を次のアからカの順でそれぞれに該当する都道府県に対し各 1 名を上限に配置する。
 - ア 少年男子・少年女子・成年男子・成年女子の全種別に参加する都道府県
 - イ 少年男子と少年女子の両種別と成年男子と成年女子のいずれかに参加する都道府県
 - ウ 少年男子と少年女子のいずれかと成年男子と成年女子の両種別に参加する都道府県
 - エ 成年男子と成年女子のいずれにも参加せず、少年男子と少年女子の両種別に参加する都道府県
 - オ 少年男子と少年女子のいずれかと成年男子と成年女子のいずれかに参加する都道府県

カ 少年男子と少年女子のいずれにも参加せず、成年男子と成年女子の両種別に参加する
都道府県

4 競技上の規程及び方法

(1) 競技上の規程

ア 全日本アーチェリー連盟競技規則「ターゲットアーチェリー」による。

イ 競技は、クオリfikेशनラウンド及びイリミネーションラウンド及びファイナルラウンドとする。

ウ 参加資格に不備や虚偽の者が出場した場合には、そのチームを大会から除外して行う。

(2) 競技の方法

ア クオリfikेशनラウンドは、70mラウンドで実施する。

イ クオリfikेशनラウンドは、1 標的 3 名の行射で、A・B・C の 1 立ち制とする。

ウ イリミネーションラウンド進出チームは、成年 8 チーム、少年 16 チームとする。

ただし、1 位から 8 位まで又は 1 位から 16 位までに同順位及び 8 位、16 位に同順位が出た場合は、全日本アーチェリー連盟競技規則（第 208 条 5 項）により順位を決定する。

エ イリミネーションラウンド及びファイナルラウンドは、オリンピックラウンドで実施する。

なお、5 位から 8 位までの順位は、1/4 ファイナルのポイント数で順位を決定する。

獲得ポイント数が同数の場合は、全日本アーチェリー連盟競技規則（第 208 条 5 項）により順位を決定する。

オ 出場選手・監督の変更は監督会議時に発表する。

5 予選方法

(1) 予選方法は、各都道府県大会及び各ブロック大会とし、それぞれの大会は本大会の実施要項に基づき、各都道府県大会は 70m を含む競技により実施するものとし、各ブロック大会は、70m ラウンドで実施するものとする。

(2) 出場者は、全日本アーチェリー連盟に登録を完了し、「A・J・A・F ターゲットスターバッジ」の資格を取得している者とする。

(3) 各都道府県協会（連盟）は、都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する種別代表選手を決定する。

(4) ブロック大会は、所属都道府県協会（連盟）の共催のもとに開催地協会（連盟）が主管して実施し、期日、会場、実施方法については当該都道府県スポーツ協会と協議の上決定し、本大会に出場する代表都道府県を決定する。

(5) ブロック大会区分及び代表都道府県数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都 道 府 県 名	成年 男子	成年 女子	少年 男子	少年 女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	3	3
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	3	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	2	2
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	2	2
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	2	3
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2	2

九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	4	4
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		14	14	24	24

6 予選結果の報告

- (1) 各都道府県協会（連盟）は、ブロック大会開催2週間前までに、立順が記載された全選手の都道府県大会予選の成績表（A4）1部をブロック大会の開催地協会（連盟）事務局宛提出すること。
- (2) ブロック大会の開催地会長は、ブロック大会終了後翌日に、前項の都道府県大会予選及び各ブロックの成績一覧表（A4）1部を全日本アーチェリー連盟宛報告すること。

7 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則5に定めるもののほか、次による。

- (1) 参加選手は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員競技者登録を完了し「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」の資格を取得している者。監督は、本年度の全日本アーチェリー連盟に会員登録を完了し、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認アーチェリーコーチ1、公認アーチェリーコーチ2、公認アーチェリーコーチ3、公認アーチェリーコーチ4のいずれかの資格を有する者であること。
- (2) 各予選の結果、代表として選抜された選手をもってチームを編成しなければならない。
- (3) 少年種別に参加できる選手には、2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた中学3年生を含む。
- (4) 選手、監督の兼任はできない。
- (5) 本項に定める事項は、都道府県大会にも適用する。

8 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成 年 男 子 成 年 女 子 少 年 男 子 少 年 女 子	成 年 女 子 少 年 女 子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点の競技得点を与える。 ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。 なお、得点は次の順位のものを加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

9 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別団体及び各種別個人の第1位から第8位までに、賞状を授与する。

10 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通して、2025年9月4日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスができなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 参加申込み締切後の選手・監督の変更は、疾病、傷病等特別な場合のみ認める。
なお、変更する場合は、下記のア、イ、ウの事務局宛に文書で、監督会議前日までに届けなければならない。

- ア 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 707号室
公益社団法人全日本アーチェリー連盟
TEL 03-6459-2812 FAX 03-6459-2813
- イ 〒520-0807 滋賀県大津市松本一丁目2番1号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局
（滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係）
TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836
MAIL kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
- ウ 〒529-1380 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川72番地
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ愛荘町実行委員会事務局
（愛荘町教育委員会事務局国スポ・障スポ開催推進室）
TEL 0749-42-8015 FAX 0749-42-8014
MAIL kokusupo-sanka@town.aisho.lg.jp

なお、イ、ウについては、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対して、大会終了後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

11 参加上の注意

- (1) 参加出場者のユニフォームは、チーム内が単一のもので上衣には都道府県名が明記され、下衣は統一されたものであり、競技会場・練習場においては監督・選手とも全日本アーチェリー連盟競技規則による統一されたユニフォームを着用すること。
- (2) 選手の事情により得点記録に代行者が必要な場合は、監督会議前日までに届け出なければならない。また、代行者の服装は選手と同様とする。
- (3) 監督は、交付される監督 ID カードを当該種別競技中、視認できる箇所に付けなければならない。
- (4) 用具検査時には、監督は資格を証明する登録証を提示する。
選手は全日本アーチェリー連盟の会員証と「A・J・A・Fターゲットスターバッジ」を提示する。

- (5) 表彰式には、監督・選手ともユニフォームを着用し、必ず参加すること。
- (6) 開催地において配宿する人数は、原則としてエントリー数のみとする。
- (7) 監督会議には、監督は全員必ず参加すること。

12 その他

(1) 組合せ抽選会議

日 時 2025 年 9 月 6 日（土） 午前 10 時
場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号
 TEL 03-6459-2812 FAX 03-6459-2813

(2) 監督会議

日 時 2025 年 10 月 4 日（土） 午後 4 時
場 所 愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
 〒529-1205 滋賀県愛知郡愛荘町軽野甲 100 番地
 TEL 0749-37-3383 FAX 0749-37-3506

(3) 競技役員会議

日 時 2025 年 10 月 4 日（土） 午前 9 時
場 所 愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
 〒529-1205 滋賀県愛知郡愛荘町軽野甲 100 番地
 TEL 0749-37-3383 FAX 0749-37-3506

(4) 表彰式

日 時 (個人)
 2025 年 10 月 5 日（日） 午後 4 時～午後 4 時 30 分
 (種別・総合)
 2025 年 10 月 7 日（火） 午後 3 時～午後 3 時 40 分
場 所 愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
 〒529-1205 滋賀県愛知郡愛荘町軽野甲 100 番地

競 技 日 程

競 技 役 員 会 議	10月4日（土）	9時00分	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
監 督 会 議	10月4日（土）	16時00分	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館

	10月5日（日）	10月6日（月）	10月7日（火）
愛 荘 町 ス ポ ー ツ セ ン タ ー 秦 荘 グ ラ ウ ン ド	用具再検査・男子種別（未実施含） 8:30～ 9:00 用具再検査・女子種別（未実施含） 12:00～12:30	練習ゾーン開設 11:15～14:55	練習ゾーン開設 8:30～13:35
	競 技 （クオリフィケーションラウンド）	競 技 （イリミネーション～ ファイナルラウンド）	競 技 （ファイナルラウンド）
	成年男子	1／8イリミネーション	ブロンズメダルマッチ
	少年男子	少年男子	少年男子
	練 習 9:10～ 9:40	練 習（4分×2 + 2分×2） 8:30～ 9:00	競 技 9:00～ 9:30
	競 技	競 技 9:00～ 9:30	少年女子 競 技 9:40～10:10
	1回目 9:55～10:50	少年女子	成年男子 競 技 10:20～10:50
	2回目 11:00～11:55	練 習（2分×2） 9:40～ 9:50	成年女子 競 技 11:00～11:30
	成年女子	競 技 9:50～10:20	
	少年女子	1／4ファイナル	ゴールドメダルマッチ
	練 習 12:40～13:10	成年男子	少年男子 競 技 11:45～12:15
	競 技	練 習（2分×2） 10:30～10:40	少年女子 競 技 12:25～12:55
	1回目 13:25～14:20	競 技 10:40～11:05	成年男子 競 技 13:05～13:35
	2回目 14:30～15:25	成年女子	成年女子 競 技 13:45～14:15
		練 習（2分×2） 11:15～11:25	
		競 技 11:25～11:50	
		少年男子 競 技 12:00～12:25	
		少年女子 競 技 12:35～13:00	
		セミファイナル	
		成年男子 競 技 13:10～13:35	
		成年女子 競 技 13:45～14:10	
		少年男子 競 技 14:20～14:45	
		少年女子 競 技 14:55～15:20	

種別個人表彰式	10月5日（日）	16時00分	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館
表 彰 式	10月7日（火）	15時00分	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館

※ 用具検査は、10月4日（土）13:00～15:00に競技会場で行います

練習会場は、10月4日（土）～ 10月7日（火）まで愛荘町立中央スポーツ公園アーチェリー場を開設します

開設時間は、原則として8:30～16:00。 但し、6日（月）は8:00～16:00、7日（火）は8:30～11:30となります

10月4日（土）は、10:00～15:00までの間、競技会場での練習を認めます

式 次 第

種別個人表彰式		
日時	令和7年10月5日（日）	
開式	16時00分	
会場	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館	
順序	式次第	時刻
	整列完了	15:58
1	種別個人表彰式開式通告	16:00
2	種別個人成績発表・賞状授与	16:01
3	わたSHIGA輝く賞発表・メダル授与	16:20
4	開催地町長あいさつ	16:25
5	閉式通告	16:29
6	選手団解散	16:30

種別団体並びに総合表彰式		
日時	令和7年10月7日（火）	
開式	15時00分	
会場	愛荘町スポーツセンター秦荘体育館	
順序	式次第	時刻
	整列完了	14:58
1	種別団体表彰式・開式通告	15:00
2	種別団体成績発表・賞状授与	15:01
3	総合表彰式開式通告	15:21
4	総合成績発表・表彰状授与	15:22
5	大会会長トロフィー授与	15:28
6	競技会会長あいさつ	15:30
7	歓送のことば	15:35
8	競技会終了宣言	15:39
9	閉式通告	15:40
10	選手団解散	15:41

都道府県参加人数一覧表

ブロック	種別 県名	監督	参加選手数				計	ブロック	種別 県名	監督	参加選手数				計	
			成年男子	成年女子	少年男子	少年女子					成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		
北海道	北海道	2	3	3	3	3	14	近畿	京都府	1		3	3		7	
東北	青森県	2	3	3	3	3	14		大阪府	2			3	3	3	11
	岩手県	1		3	3		7		兵庫県						0	
	宮城県	1			3	3	7		奈良県	1	3				4	
	秋田県						0		和歌山県	1	3			3	7	
	山形県	1	3			3	7		中国	鳥取県					0	
	福島県						0	島根県						0		
関東	茨城県						0	岡山県		1				3	4	
	栃木県						0	広島県		2	3	3	3	3	14	
	群馬県	1				3	4	山口県	2			3	3	8		
	埼玉県	2	3		3	3	11	四国	香川県	2			3	3	8	
	千葉県	2		3	3	3	11		徳島県					0		
	東京都	2	3	3	3		11		愛媛県	2	3	3	3	3	14	
	神奈川県	2			3	3	8		高知県					0		
	山梨県						0	九州	福岡県	2		3	3	3	11	
北信越	新潟県						0		佐賀県	2			3	3	8	
	長野県						0		長崎県					0		
	富山県	2	3		3	3	11		熊本県	1	3			4		
	石川県	1			3		4		大分県	2		3	3	3	11	
	福井県	2		3	3	3	11		宮崎県	1	3			3	7	
	東海	静岡県	2		3	3	3		11	鹿児島県	1			3		4
愛知県		1	3		3		7		沖縄県					0		
三重県							0		開催県	滋賀県	2	3	3	3	3	14
岐阜県		1				3	4	参加総数		50	42	42	72	72	278	

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
北海道	高橋 伸章 中村 梨沙子	高橋 孝輔 大隅 凱 太田 琉偉	松嶋 絹花 河田 莉依 中川 彩名	米倉 慶樹 中村 暁至 名木 橋陸	田居 未結 小泉 うらら 田中 詩乃
青森県	五戸 豊美 酒田 和彦	沼尾 大輝 阿部 由暉 白戸 渉	阿保 ナナ 福士 ちひろ 小笠原 瞳	小池 光洋 阿部 朔也 漆坂 築	山田 凜音 横山 歌凜 相澤 結桜
岩手県	角 清一		川原 詩夕 吉田 光里 川渕 真弓	佐々木 陽葵 穴久保 新大 佐々木 響	
宮城県	櫻井 慎			宮澤 樹 岸柳 心晴 西條 智家	関口 結唯 澤井 莉乃 佐藤 吹
山形県	布施 愛加	照井 翔太 松永 旺大 佐藤 凜太郎			小池 綺佳 富樫 真花 亀井 心香
群馬県	林 和弘				清水 沙蘭 笹岡 莉桜 寺田 結生
埼玉県	柴田 雄一郎 大橋 亨	桑江 良斗 藤井 望 加藤 永遠		濱田 一心 川上 誠人 柴生 正夫	今井 絢子 自在 舞幸 篠宮 莉乃
千葉県	渡辺 勝 広田 和也		相川 乃羽 長原 智夏 吉留 光咲	倉田 遼平 立原 慶汰 鈴木 陽向	田山 実聖 米井 瑞希 立花 結
東京都	齊藤 未央 富樫 昭一郎	阿部山 弘太 松田 光太郎 下島 舜介	五関 暁子 肥沼 美幸 宮野 文	河西 大心 道添 光輝 高野 喜晴	
神奈川県	池田 幸一 大竹 肇			渡邊 光希 谷本 一人 海津 悠人	橋口 愛央 金子 美柚 福永 鈴
富山県	上田 哲治 徳本 忠義	澤田 桃太 橋鼓 太朗 徳本 拓人		白川 仁 猿田 伊武己 浄土 愛晴	流小 夏 細江 文乃 纒坂 優来
石川県	山首 一恵			當麻 伊歩希 森田 貴志 山田 薫	

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
福井県	津田 勇志 大久保 準		久原 千夏 西嶋 詩緒里 真柄 結衣	村田 聖那 大門 楽宝 木部 遥柊	ソアレス アイラ 谷口 佳愛 帰山 美波
静岡県	樋口 弘恵 小笠原 康二		杉本 智美 山内 梓 渡邊 麻央	松島 一誠 田中 勘九朗 日名子 奈月	鈴木 麻優子 鈴木 円香 加藤 碧
愛知県	鈴木 大史	武藤 弘樹 舟橋 悠矢 大木 倭		蒲凜 之介 野村 柊磨 柴田 大輔	
岐阜県	鷺見 益男				大井 梨世 佐藤 百姫 橋本 青依
滋賀県	仲田 善裕 吉瀧 拓真	古谷 溪汰 吉村 和氣 杉本 翔太	原田 愛実 仲田 聖麗 勝見	大橋 陸冬 今堀 惺也 谷口 蒼空	月原 花音 上柳 結加 佐々木 心音
京都府	林 孝亮		安久 詩乃 山本 勇気 福岡 令菜	大坪 星之 向山 潤 富永 汰樹	
大阪府	山本 和樹 花田 誠		山田 梨乃 山中 夢叶 西村 遼	田中 楓峨 高井 志道 田中 大結	徳山 晃以 折野 詩子 鈴木 彩菜
奈良県	阿部 陽介	吉田 悠人 大隅 一樹 岩崎 智仁			
和歌山県	森 毅	岡田 拓己 竹畑 胤希 岩尾 亘			三浦 妃夏 山本 みず穂 西田 愛華
岡山県	豊福 浩				吉野 友香子 清水 絆栞 北條 成栳
広島県	才原 光平 菊地 栄樹	河田 悠希 青島 鉄也 伊藤 魁晟	樽本 邑里 森帆 乃花 末重 花華	沖野 直晴 西耕 之介 小嶋 快人	末重 実夢 谷本 莉乃 岡田 清花
山口県	中 寛 原田 拓郎			片山 瑛大 田村 扇晨 木村 拓未	小泉 千咲 河野 里美 木谷 穂伽

参加選手一覧（監督・選手）

都道府県	監督	成年男子選手	成年女子選手	少年男子選手	少年女子選手
香川県	宮 武 孝 明 柏 原 敏 宏			宮 川 隼 山 本 寛 樹 小 山 泰 季	諏 訪 愛 巳 小 国 優 希 菜 芳 澤 文
愛媛県	長 谷 川 明 夫 國 貞 柚 衣	角 田 鉄 平 片 上 楓 也 長 谷 川 廉	鈴 木 さ く ら 勝 本 由 奈 薦 田 み ゆ	河 野 風 綺 大 澤 亮 太 朗 壺 内 和 希	黒 田 彩 夏 渡 邊 果 夢 村 上 蘭
福岡県	徳 川 翔 義 経 絵 里		徳 川 紗 月 安 永 さ く ら 青 木 風 歌	高 田 顕 照 大 塚 音 弥 佐 々 野 祐 弥	古 庄 千 陽 子 平 田 愛 彩 手 嶋 慧 都 海
佐賀県	打 越 大 輔 森 田 裕 介			牧 山 蒼 空 野 木 寛 和 服 部 虹 昊	宮 崎 美 久 奥 園 桃 華 鶴 由 紀 乃
熊本県	坂 本 隆 輝	宮 田 楽 都 巢 山 佑 輝 深 水 和 良			
大分県	荷 宮 利 孝 藤 原 里 美		朝 久 野 奈 波 園 田 稚 末 松 愛 梨	安 東 颯 斗 山 下 一 浩 吉 良 一 真	石 井 美 羽 久 留 主 未 來 池 田 美 緒
宮崎県	近 藤 伸 哉	田 口 惣 一 朗 石 井 佑 汰 川 崎 凌 助			中 西 凜 桜 小 野 き ら り 夏 田 楓 珠 美
鹿児島県	中 袴 田 学			中 袴 田 鈴 中 袴 田 遊 戸 川 大 輝	

立 ち 順 一 覧 表

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種 別	少 年 男 子																							
的 番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A 立	富山			千葉			広島			京都			宮城			山口			福岡			福井		
B 立	香川			東京			北海道			静岡			鹿児島			滋賀			岩手			青森		
C 立	佐賀			神奈川			愛媛			大分			愛知			埼玉			大阪			石川		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種 別	成 年 男 子														
的 番	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
A 立	広島			宮崎			熊本			富山			滋賀		
B 立				愛知			山形			奈良			東京		
C 立				和歌山			青森			北海道			愛媛		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種 別	少 年 女 子																							
的 番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
A 立	群馬			広島			愛媛			山口			富山			岡山			山形			福岡		
B 立	佐賀			岐阜			宮城			埼玉			宮崎			静岡			千葉			香川		
C 立	大分			福井			神奈川			和歌山			青森			滋賀			大阪			北海道		

クオリフィケーションラウンド

10月5日

種 別	成 年 女 子														
的 番	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
A 立	青森			大分			福井			北海道			広島		
B 立	千葉			福岡						滋賀			静岡		
C 立	京都			大阪						岩手			東京		

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	7-B	7	ヨ ネ ク ラ ヨ シ キ 米 倉 慶 樹 市立札幌啓北商業高等学校					()
	8-B	8	ナ カ ム ラ サ ト シ 中 村 暁 至 北海道帯広三条高等学校					
	9-B	9	ナ ギ ハ シ リ ク 名 木 橋 陸 北海道帯広三条高等学校					
青森県	22-B	22	コ イ ケ コ ウ ヨ ウ 小 池 光 洋 青森山田高等学校					()
	23-B	23	ア ベ サ ク ヤ 阿 部 朔 也 青森山田高等学校					
	24-B	24	ウ ル シ ザ カ キ ズ ク 漆 坂 築 三本木農業恵拓高等学校					
岩手県	19-B	19	サ サ キ ハ ル キ 佐々木 陽葵 岩手県立盛岡工業高等学校					()
	20-B	20	ア ナ ク ボ ア ラ タ 穴久保 新大 岩手県立盛岡工業高等学校					
	21-B	21	サ サ キ ヒ ビ キ 佐々木 響 岩手県立盛岡工業高等学校					
宮城県	13-A	13	ミ ヤ ザ ワ イ ツ キ 宮 澤 樹 仙台市立仙台工業高等学校					()
	14-A	14	キ シ ヤ ナ ギ シ ン セ イ 岸 柳 心 晴 仙台市立仙台工業高等学校					
	15-A	15	サイ ジ ョ ウ ト モ イ エ 西 條 智 家 登米総合産業高等学校					
埼玉県	16-C	16	ハ マ ダ イ ッ シ ン 濱 田 一 心 埼玉県立豊岡高等学校					()
	17-C	17	カ ワ カ ミ ア キ ト 川 上 誠 人 栄東高等学校					
	18-C	18	シ ノ ウ マ サ オ 柴 生 正 夫 大宮開成高等学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
千葉県	4-A	4	クラタリョウヘイ 倉田 遼平 千葉黎明高等学校					()
	5-A	5	タツハラケイタ 立原 慶汰 千葉英和高等学校					
	6-A	6	スズキヒナタ 鈴木 陽向 千葉県立津田沼高等学校					
東京都	4-B	4	カワニシダイシン 河西 大心 獨協高等学校					()
	5-B	5	ミチゾエコウキ 道添 光輝 町田市アーチェリー協会					
	6-B	6	タカノヨシハル 高野 喜晴 東京都立武蔵高等学校					
神奈川県	4-C	4	ワタナベコウキ 渡邊 光希 星槎国際高等学校湘南					()
	5-C	5	タニモトカズマ 谷本 一真 横須賀総合高等学校					
	6-C	6	カイゾユウト 海津 悠人 横須賀総合高等学校					
富山県	1-A	1	シラカワジン 白川 仁 桜井高等学校					()
	2-A	2	サルタイブキ 猿田 伊武己 入善高等学校					
	3-A	3	ジョウドアイセイ 淨土 愛晴 魚津工業高等学校					
石川県	22-C	22	トウマイブキ 當麻 伊歩希 石川県立金沢向陽高等学校					()
	23-C	23	モリタタカシ 森田 貴志 石川県立金沢西高等学校					
	24-C	24	ヤマダカオル 山田 薫 石川県立能登高等学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
福井県	22-A	22	ムラタセナ 村田 聖那 福井県立鯖江高等学校					()
	23-A	23	ダイモンタカラ 大門 楽宝 福井県立鯖江高等学校					
	24-A	24	キベハルト 木部 遥柊 福井県立鯖江高等学校					
静岡県	10-B	10	マツシマイッセイ 松島 一誠 静岡県立浜松北高等学校					()
	11-B	11	タナカカンクロウ 田中 勘九朗 静岡県立磐田北高等学校					
	12-B	12	ヒナゴナツキ 日名子 奈月 静岡県立浜松北高等学校					
愛知県	13-C	13	カマリンノスケ 蒲 凜之介 愛知産業大学三河高等学校					()
	14-C	14	ノムラシュウマ 野村 柊磨 愛知産業大学三河高等学校					
	15-C	15	シバタダイスケ 柴田 大輔 愛知県立旭丘高等学校					
滋賀県	16-B	16	オオハシリクト 大橋 陸冬 滋賀県立草津東高等学校					()
	17-B	17	イマホリセイヤ 今堀 惺也 滋賀県立河瀬高等学校					
	18-B	18	タニグチアオイ 谷口 蒼空 滋賀県立草津東高等学校					
京都府	10-A	10	オオツボホシユキ 大坪 星之 同志社高等学校					()
	11-A	11	ムコヤマジュン 向山 潤 京都府立工業高等学校					
	12-A	12	トミナガタイキ 富永 汰樹 京都府立菟道高等学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
大阪府	19-C	19	タナカ フウガ 田中 楓峨 近畿大学附属高等学校					()
	20-C	20	タカイ シドウ 高井 志道 近畿大学附属高等学校					
	21-C	21	タナカ ヒロム 田中 大結 近畿大学附属高等学校					
広島県	7-A	7	オキノ ナオハル 沖野 直晴 広島県立佐伯高等学校					()
	8-A	8	ニシコウ ノスケ 西 耕之介 広島県立佐伯高等学校					
	9-A	9	コジマ カイト 小嶋 快人 広島県立海田高等学校					
山口県	16-A	16	カタヤマ アキヒロ 片山 瑛大 徳山工業高等専門学校					()
	17-A	17	タムラ センシン 田村 扇晨 聖光高等学校					
	18-A	18	キムラ タクミ 木村 拓未 山口県立田布施農工高等学校					
香川県	1-B	1	ミヤカワ シュン 宮川 隼 県立香川中央高等学校					()
	2-B	2	ヤマモト ヒロキ 山本 寛樹 県立高松西高等学校					
	3-B	3	コヤマ タイキ 小山 泰季 県立観音寺第一高等学校					
愛媛県	7-C	7	コウノ イブキ 河野 風綺 愛媛県立北条高等学校					()
	8-C	8	オオサワ リョウタロウ 大澤 亮太郎 愛媛県立今治東中等教育学校					
	9-C	9	ツボウチ カズキ 壺内 和希 愛媛県立今治東中等教育学校					

少年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
福岡県	19-A	19	タカ タケン ショウ 高田 顕照 福岡県立柏陵高等学校					()
	20-A	20	オオ ツカ オト ヤ 大塚 音弥 福岡県立柏陵高等学校					
	21-A	21	サ サ ノ ユ ウ ヤ 佐々野 祐弥 福岡県立柏陵高等学校					
佐賀県	1-C	1	マ キ ヤ マ ソ ラ 牧山 蒼空 唐津市立海青中学校					()
	2-C	2	ノ ギ カ ン ナ 野木 寛和 佐賀県立高志館高等学校					
	3-C	3	ハ ッ ト リ ソ ラ 服部 虹昊 佐賀県立高志館高等学校					
大分県	10-C	10	ア ン ド ウ ハ ヤ ト 安東 颯斗 大分東明高等学校					()
	11-C	11	ヤマ シ タ カ ズ ヒ ロ 山下 一浩 大分東明高等学校					
	12-C	12	キ ラ カ ズ マ 吉良 一真 大分東明高等学校					
鹿児島県	13-B	13	ナ カ ハ カ マ ダ レ イ 中袴田 羚 鹿児島県立串木野高等学校					()
	14-B	14	ナ カ ハ カ マ ダ ユ ウ 中袴田 遊 鹿児島県立串木野高等学校					
	15-B	15	ト ガ ワ ダ イ キ 戸川 大輝 鹿児島県立鹿児島工業高等学校					

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	34-C	34	タカハシ コウスケ 高橋 孝輔 陸上自衛隊真駒内駐屯地					()
	35-C	35	オオスミ ガイ 大 隅 凱 札幌学院大学					
	36-C	36	オオタル イ 太田 琉偉 東京国際大学					
青森県	31-C	31	ヌマオ ダイキ 沼尾 大輝 東京国際大学					()
	32-C	32	アベ ユウキ 阿部 由暉 近畿大学					
	33-C	33	シラト ワタル 白戸 渉 株式会社ユアテック					
山形県	31-B	31	テルイ ショウタ 照井 翔太 東洋技検株式会社					()
	32-B	32	マツナガ オウヒロ 松永 旺大 山形ダイハツ販売株式会社					
	33-B	33	サトウ リンタロウ 佐藤 凜太郎 日本体育大学					
埼玉県	25-C	25	クワエ ヨシト 桑江 良斗 自衛隊体育学校					()
	26-C	26	フジイ ノゾミ 藤井 望 自衛隊体育学校					
	27-C	27	カト ウトロ 加藤 永遠 近畿大学					
東京都	37-B	37	アベヤマ コウタ 阿部山 弘太 拓殖大学					()
	38-B	38	マツダ コウタロウ 松田 光太郎 電気通信大学大学院					
	39-B	39	シモジマ シュンスケ 下島 舜介 慶應義塾大学					

成年男子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
富山県	34-A	34	サ ワ ダ モ モ タ 澤 田 桃 太 愛 知 産 業 大 学					()
	35-A	35	タ チ バ ナ コ タ ロ ウ 橘 鼓 太 朗 近 畿 大 学					
	36-A	36	ト ク モ ト タ ク ト 徳 本 拓 人 近 畿 大 学					
愛知県	28-B	28	ム ト ウ ヒ ロ キ 武 藤 弘 樹 トヨタ自動車株式会社					()
	29-B	29	フ ナ ハ シ ユ ウ ヤ 舟 橋 悠 矢 近 畿 大 学					
	30-B	30	オ オ キ ヤ マ ト 大 木 倭 愛 知 産 業 大 学					
滋賀県	37-A	37	フ ル タ ニ ケ イ タ 古 谷 溪 汰 株 式 会 社 ク ラ ブ ハ リ エ					()
	38-A	38	ヨ シ ム ラ カ ズ キ 吉 村 和 氣 日 本 体 育 大 学					
	39-A	39	ス ギ モ ト シ ョ ウ タ 杉 本 翔 太 大 杉 株 式 会 社					
奈良県	34-B	34	ヨ シ ダ ユ ウ ト 吉 田 悠 人 同 志 社 大 学					()
	35-B	35	オ オ ス ミ カ ズ キ 大 隅 一 樹 ア ク セ ン チ ュ ア 株 式 会 社					
	36-B	36	イ ワ サ キ ト モ ヒ ト 岩 崎 智 仁 オムロンソーシャルソリューションズ株式会社					
和歌山県	28-C	28	オ カ ダ タ ク ミ 岡 田 拓 己 愛 知 産 業 大 学					()
	29-C	29	タ ケ ハ タ カ ズ キ 竹 畑 胤 希 愛 知 産 業 大 学					
	30-C	30	イ ワ オ ワ タ ル 岩 尾 亘 白 光 印 刷 株 式 会 社					

成 年 男 子 組 合 せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
広島県	25-A	25	カワタ ユウキ 河田 悠希 株式会社エディオン					()
	26-A	26	アオシマ テツヤ 青島 鉄也 株式会社エディオン					
	27-A	27	イトウ カイセイ 伊藤 魁晟 日本体育大学					
愛媛県	37-C	37	スミダ テツペイ 角田 鉄平 浅川造船					()
	38-C	38	カタカミ フウヤ 片上 楓也 B E M A C					
	39-C	39	ハセガワ レン 長谷川 廉 愛媛県競技力向上対策本部					
熊本県	31-A	31	ミヤタ ガクト 宮田 楽都 近畿大学					()
	32-A	32	スヤマ ユウキ 巢山 佑輝 (株)テクニックスービス					
	33-A	33	フカミ カズヨシ 深水 和良 ジャパンマリンユナイテッド(株)					
宮崎県	28-A	28	タグチ ソウイチロウ 田口 惣一郎 県立延岡星雲高等学校(教)					()
	29-A	29	イシイ ユウタ 石井 佑汰 宮崎県教育委員会					
	30-A	30	カワサキ リョウスケ 川崎 凌助 長崎国際大学					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	22-C	22	タ イ ミ ユ 田 居 未 結 市立札幌啓北商業高等学校					()
	23-C	23	コ イ ズ ミ ウ ラ ラ 小 泉 う ら ら 市立札幌啓北商業高等学校					
	24-C	24	タ ナ カ シ ノ 田 中 詩 乃 市立札幌啓北商業高等学校					
青森県	13-C	13	ヤ マ ダ リ オ ン 山 田 凜 音 青森山田高等学校					()
	14-C	14	ヨ コ ヤ マ カ リ ン 横 山 歌 凜 青森山田高等学校					
	15-C	15	ア イ ザ ワ ユ イ ナ 相 澤 結 桜 青森山田高等学校					
宮城県	7-B	7	セ キ グ チ ユ イ 関 口 結 唯 仙台二華高等学校					()
	8-B	8	サ ワ イ リ ノ 澤 井 莉 乃 東陵高等学校					
	9-B	9	サ ト ウ フ ク 佐 藤 吹 東陵高等学校					
山形県	19-A	19	コ イ ケ ア ヤ カ 小 池 綺 佳 山形県立鶴岡工業高等学校					()
	20-A	20	ト ガ シ マ ナ 富 樫 真 花 山形県立致道館高等学校					
	21-A	21	カ メ イ コ コ ナ 亀 井 心 香 花 山形県立致道館高等学校					
群馬県	1-A	1	シ ミ ズ サ ラ ン 清 水 沙 蘭 高崎商科大学附属高等学校					()
	2-A	2	サ サ オ カ リ オ 笹 岡 莉 桜 群馬県立高崎女子高等学校					
	3-A	3	テ ラ ダ ユ イ 寺 田 結 生 群馬県立館林女子高等学校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
埼玉県	10-B	10	イ マ イ ア ヤ コ 今 井 絢 子 栄 東 高 等 学 校					()
	11-B	11	ジ ザ イ マ ユ キ 自 在 舞 幸 栄 東 高 等 学 校					
	12-B	12	シ ノ ミ ヤ リ ノ 篠 宮 莉 乃 埼 玉 県 立 越 ケ 谷 高 等 学 校					
千葉県	19-B	19	タ ヤ マ ミ サ ト 田 山 実 聖 千 葉 英 和 高 等 学 校					()
	20-B	20	ヨ ネ イ ミ ズ キ 米 井 瑞 希 千 葉 英 和 高 等 学 校					
	21-B	21	タ チ バ ナ ユ イ 立 花 結 千 葉 英 和 高 等 学 校					
神奈川県	7-C	7	ハ シ グ チ ア オ イ 橋 口 愛 央 横 浜 高 等 学 校					()
	8-C	8	カ ネ コ ミ ユ 金 子 美 柚 横 浜 修 悠 館 高 等 学 校					
	9-C	9	フ ク ナ ガ レ イ 福 永 鈴 湘 南 白 百 合 学 園 高 等 学 校					
富山県	13-A	13	ナ ガ レ コ ナ ツ 流 小 夏 桜 井 高 等 学 校					()
	14-A	14	ホ ソ エ ア ヤ ノ 細 江 文 乃 桜 井 高 等 学 校					
	15-A	15	オ ザ カ ユ ラ 纓 坂 優 来 桜 井 高 等 学 校					
福井県	4-C	4	ソ ア レ ス ア イ ラ ソアレス アイラ 福 井 県 立 鯖 江 高 等 学 校					()
	5-C	5	タ ニ グ チ カ ノ 谷 口 佳 愛 福 井 県 立 鯖 江 高 等 学 校					
	6-C	6	キ ヤ マ ミ ナ ミ 帰 山 美 波 福 井 県 立 鯖 江 高 等 学 校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
静岡県	16-B	16	鈴木 麻優子 静岡県立浜松北高等学校					()
	17-B	17	鈴木 円香 静岡県立浜松商業高等学校					
	18-B	18	加藤 碧 静岡県立浜松商業高等学校					
岐阜県	4-B	4	大井 梨世 東京都立足立新田高等学校					()
	5-B	5	佐藤 百姫 聖マリア女学院高等学校					
	6-B	6	橋本 青依 聖マリア女学院高等学校					
滋賀県	16-C	16	月原 花音 滋賀県立大津商業高等学校					()
	17-C	17	上柳 結加 東京都立足立新田高等学校					
	18-C	18	佐々木 心音 滋賀県立北大津高等学校					
大阪府	19-C	19	徳山 晃以 近畿大学附属高等学校					()
	20-C	20	折野 詩子 常翔学園高等学校					
	21-C	21	鈴木 彩菜 常翔学園高等学校					
和歌山県	10-C	10	三浦 妃夏 和歌山県立和歌山高等学校					()
	11-C	11	山本 みず穂 和歌山県立神島高等学校					
	12-C	12	西田 愛華 和歌山県立和歌山高等学校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
岡山県	16-A	16	ヨ シ ノ ユ カ コ 吉野 友香子 岡山県立備前緑陽高等学校					()
	17-A	17	シ ミ ズ ホ ノ カ 清水 絆 栞 岡山県立倉敷天城高等学校					
	18-A	18	ホ ウ ジ ョ ウ ノ エ カ 北條 成 栞 岡山県立倉敷天城高等学校					
広島県	4-A	4	ス エ シ ゲ ミ ユ 末重 実 夢 広島県立可部高等学校					()
	5-A	5	タ ニ モ ト リ ノ 谷本 莉 乃 広島県立佐伯高等学校					
	6-A	6	オ カ ダ キ ヨ カ 岡田 清 花 広島県立呉宮原高等学校					
山口県	10-A	10	コ イ ズ ミ チ サ キ 小泉 千 咲 山口県立西京高等学校					()
	11-A	11	カ ワ ノ サ ト ミ 河野 里 美 山口県立田布施農工高等学校					
	12-A	12	キ ヤ ホ ノ カ 木谷 穂 伽 山口県立西京高等学校					
香川県	22-B	22	ス ワ マ ナ ミ 諏訪 愛 巳 県立香川中央高等学校					()
	23-B	23	オ グ ニ ユ キ ナ 小国 優希菜 県立香川中央高等学校					
	24-B	24	ヨ シ ザ ワ ア ヤ 芳 澤 文 県立高松東高等学校					
愛媛県	7-A	7	ク ロ ダ ア ヤ カ 黒田 彩 夏 松山東雲高等学校					()
	8-A	8	ワ タ ナ ベ カ ノ ン 渡邊 果 夢 愛媛県立今治東中等教育学校					
	9-A	9	ム ラ カ ミ ラ ン 村上 蘭 愛媛県立今治東中等教育学校					

少年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
福岡県	22-A	22	フルシヨウチヨコ 古庄 千陽子 東京都立足立新田高等学校					()
	23-A	23	ヒラタアリス 平田 愛彩 北九州市立戸ノ上中学校					
	24-A	24	テシマサトミ 手嶋 慧都海 福岡県立柏陵高等学校					
佐賀県	1-B	1	ミヤザキミク 宮崎 美久 佐賀県立高志館高等学校					()
	2-B	2	オクゾノモモカ 奥園 桃華 佐賀県立唐津東高等学校					
	3-B	3	ツルユキノ 鶴 由紀乃 佐賀県立唐津南高等学校					
大分県	1-C	1	イシイミウ 石井 美羽 大分東明高等学校					()
	2-C	2	クルスマライ 久留主 未来 大分東明高等学校					
	3-C	3	イケダミオ 池田 美緒 大分東明高等学校					
宮崎県	13-B	13	ナカニシリオ 中西 凜桜 県立延岡星雲高等学校					()
	14-B	14	オノキラリ 小野 きらり 県立延岡星雲高等学校					
	15-B	15	ナツタカスミ 夏田 楓珠美 県立延岡星雲高等学校					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
北海道	34-A	34	マ ツ シ マ キ ス カ 松 嶋 絹 花 帯 広 市 役 所					()
	35-A	35	カ ワ タ レ イ 河 田 莉 依 京 都 産 業 大 学					
	36-A	36	ナ カ ガ ワ ア ヤ ナ 中 川 彩 名 株 式 会 社 シ ロ					
青森県	25-A	25	ア ボ ナ ナ 阿 保 ナ ナ 近 畿 大 学					()
	26-A	26	フ ク シ チ ヒ ロ 福 士 ち ひ ろ 近 畿 大 学					
	27-A	27	オ ガ サ ワ ラ ヒ ト ミ 小 笠 原 瞳 第一生命保険三沢営業オフィス					
岩手県	31-C	31	カ ワ ハ ラ シ ユ ル 川 原 詩 夕 近 畿 大 学					()
	32-C	32	ヨ シ ダ ヒ カ リ 吉 田 光 里 近 畿 大 学					
	33-C	33	カ ワ ブ チ マ ユ ミ 川 渕 真 弓 K.M.Lアカデミーアーチェリークラブ岩手					
千葉県	25-B	25	ア イ カ ワ ノ ワ 相 川 乃 羽 立 教 大 学					()
	26-B	26	ナ ガ ハ ラ チ ナ ツ 長 原 智 夏 日 本 大 学					
	27-B	27	ヨ シ ド メ ミ サ キ 吉 留 光 咲 千 葉 県 警 察					
東京都	34-C	34	ゴ セ キ ア キ コ 五 関 暁 子 早 稲 田 大 学					()
	35-C	35	コ イ ス マ ミ ユ キ 肥 沼 美 幸 東 京 国 際 大 学					
	36-C	36	ミ ヤ ノ ア ヤ 宮 野 文 慶 應 義 塾 大 学					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
福井県	31-A	31	クバラチナツ 久原 千夏 福井信用金庫					()
	32-A	32	ニシジマシオリ 西嶋 詩緒里 福井県立鯖江高等学校(教)					
	33-A	33	マカラユイ 真柄 結衣 近畿大学					
静岡県	37-B	37	スギモトトモミ 杉本 智美 (株)ミキハウス					()
	38-B	38	ヤマウチアズサ 山内 梓 近畿大学(職)					
	39-B	39	ワタナベマオ 渡邊 麻央 城北信用金庫					
滋賀県	34-B	34	ハラダマナミ 原田 愛実 龍谷大学					()
	35-B	35	ナカタヒジリ 仲田 聖 関西大学					
	36-B	36	カツミレイ 勝見 麗 日本体育大学					
京都府	25-C	25	アグウタノ 安久 詩乃 株式会社堀場製作所					()
	26-C	26	ヤマモトユウキ 山本 勇気 株式会社堀場製作所					
	27-C	27	フクオカレナ 福岡 令菜 同志社大学					
大阪府	28-C	28	ヤマダリノ 山田 梨乃 関西大学					()
	29-C	29	ヤマナカムトワ 山中 夢叶 追手門学院大学					
	30-C	30	ニシムラハルカ 西村 遼 愛知産業大学					

成年女子組合せ

都道府県	競技者番号	標的番号	選手名	得点		合計		団体合計
			(勤務先・学校名)	1st・R	2nd・R	合計	順位	(順位)
広島県	37-A	37	樽本 邑里 株式会社エディオン					()
	38-A	38	森 帆乃花 日本体育大学					
	39-A	39	末重 花華 日本体育大学					
愛媛県	37-C	37	鈴木 さくら 同志社大学					()
	38-C	38	勝本 由奈 日本体育大学					
	39-C	39	薦田 みゆ 長崎国際大学					
福岡県	28-B	28	徳川 紗月 (株)ミキハウス					()
	29-B	29	安永 さくら 近畿大学					
	30-B	30	青木 風歌 日本体育大学					
大分県	28-A	28	朝久野 奈波 日本建設株式会社					()
	29-A	29	園田 稚 株式会社デンソーソリューション					
	30-A	30	末松 愛梨 近畿大学					

イリミネーション～ファイナルラウンド組合せ表

【 少年男子 】

〔 団体の部 〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（月）			10月7日（火）
	1/8イリミネーション	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1（1位）	①	①	①	① ゴールドメダル
2（16位）	②			
3（9位）	③	②		
4（8位）	④			
5（5位）	⑤	③	②	
6（12位）	⑥			
7（13位）	⑦	④		
8（4位）	⑧			
9（3位）	⑨	⑤	③	
10（14位）	⑩			
11（11位）	⑪	⑥		
12（6位）	⑫			
13（7位）	⑬	⑦	④	
14（10位）	⑭			
15（15位）	⑮	⑧		
16（2位）	⑯			
				ブロンズメダルマッチ
セミファイナル敗退チーム				① ブロンズメダル
セミファイナル敗退チーム				②

※ ①～⑯はの番号を示す。

※ ①～⑯は的番号を示す。

【 少女女子 】

〔 団体の部 〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（月）			10月7日（火）
	1/8イリミネーション	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1（1位）	①	①	①	① ゴールドメダル
2（16位）	②			
3（9位）	③	②		
4（8位）	④			
5（5位）	⑤	③	②	
6（12位）	⑥			
7（13位）	⑦	④		
8（4位）	⑧			
9（3位）	⑨	⑤	③	
10（14位）	⑩			
11（11位）	⑪	⑥		
12（6位）	⑫			
13（7位）	⑬	⑦	④	
14（10位）	⑭			
15（15位）	⑮	⑧		
16（2位）	⑯			
				ブロンズメダルマッチ
セミファイナル敗退チーム				① ブロンズメダル
セミファイナル敗退チーム				②

※ ①～⑯は的番号を示す。

ファイナルラウンド組合せ表

【 成年男子 】

〔 団体の部 〕

クオリフィケーションラウンド順位	10月6日（月）		10月7日（火）
	1/4ファイナル	セミファイナル	ゴールドメダルマッチ
1 （ 1 位 ）	①	①	①
2 （ 8 位 ）	②		
3 （ 5 位 ）	③	②	
4 （ 4 位 ）	④		
5 （ 3 位 ）	⑤	③	②
6 （ 6 位 ）	⑥		
7 （ 7 位 ）	⑦	④	
8 （ 2 位 ）	⑧		
			ゴールドメダル
			ブロンズメダルマッチ
セミファイナル敗退チーム			①
セミファイナル敗退チーム			②
			ブロンズメダル

※ ①～⑧は的番号を示す。

〔 団体の部 〕

— 65 —

第79回国民スポーツ大会総合成績一覧表

—		アーチェリー競技													
都道府県名		男女総合成績（天皇杯得点）								女子総合成績（皇后杯得点）					
		順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年女子	少年女子
1	北海道														
2	青森														
3	岩手														
4	宮城														
5	秋田														
6	山形														
7	福島														
8	茨城														
9	栃木														
10	群馬														
11	埼玉														
12	千葉														
13	東京														
14	神奈川														
15	山梨														
16	新潟														
17	長野														
18	富山														
19	石川														
20	福井														
21	静岡														
22	愛知														
23	三重														
24	岐阜														
25	滋賀														
26	京都														
27	大阪														
28	兵庫														
29	奈良														
30	和歌山														
31	鳥取														
32	島根														
33	岡山														
34	広島														
35	山口														
36	香川														
37	徳島														
38	愛媛														
39	高知														
40	福岡														
41	佐賀														
42	長崎														
43	熊本														
44	大分														
45	宮崎														
46	鹿児島														
47	沖縄														

アーチェリー競技について

歴史・・・始まりは狩猟

弓は旧石器時代、狩猟の道具として発達したものが起こりといわれています。これらは、南東スペインなどに残っている洞窟壁画から推測されます。

弓を大別すると、地中海型（アーチェリー）、蒙古型（和弓）、及びピンチ型の3種類に分類されます。地中海で発達したアーチェリーは、武器として古代エジプトや中世イギリスで普及しましたが、鉄砲の出現とともに衰退していきました。その後、スポーツとしてイギリス王室を中心に復活しました。ヘンリー8世は最大のアーチェリー愛好家だったといわれ、ロビン・フッドのお話もこの時代に作られました。



ターゲット（標的）競技

競技は、クオリフィケーションラウンドとイリミネーションラウンド及びファイナルラウンド（オリンピックラウンド）からなります。

（１）クオリフィケーションラウンド

男女とも70mの距離を36射、2回（72射）射て順位を競います。

個人戦は、このラウンドで順位が決まります。団体戦は、3人1組で、このラウンドでの3人の合計点の上位チーム（少年は16チーム、成年は8チーム）が、翌日のイリミネーションラウンドに進みます。

（２）イリミネーションラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）の4セットマッチ（5ポイント先取勝抜き）によるトーナメント方式で行います。

（３）ファイナルラウンド

男女とも70mの距離で1セット2分6射（2射×3名）4セットマッチ（5ポイント先取勝利）のゴールドメダルマッチとブロンズメダルマッチを行います。

用具

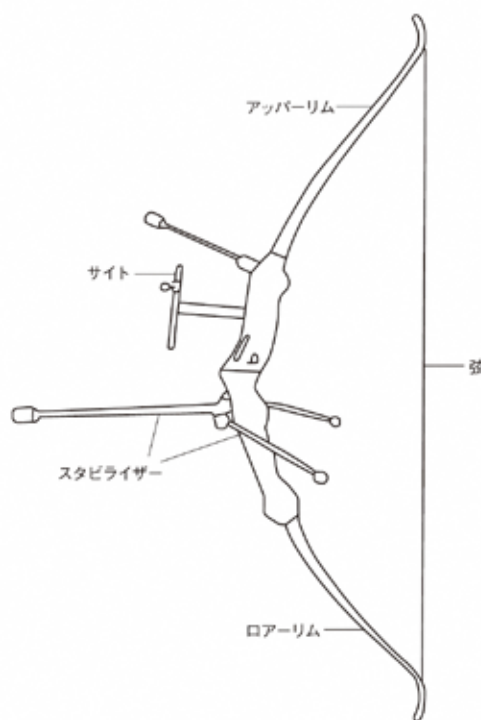
(弓)

アーチェリーの弓は、現在薄目の細長いカーボンファイバー、グラスファイバーなどを強い接着剤で張り合わせて作られており、張力や曲げに強く、反発力にも優れています。多くの選手は、ハンドル、アッパーリム及びロアーリムの3つに分解することができるテイクダウンボウを使用しています。

弓の威力は相当強く、時速 230km ぐらいで、フライト競技では 800m 以上も飛んだ記録があります。ターゲット競技に使用する弓はフライパンを突き抜けてしまう程です。

また、弓にはサイト、スタビライザーなどの補助的な装置をつけることができます。

サイト（照準器）は、ねらいを定めるためのもので、スタビライザーは、矢を射るときの衝撃を吸収するためのものです。



(弦)

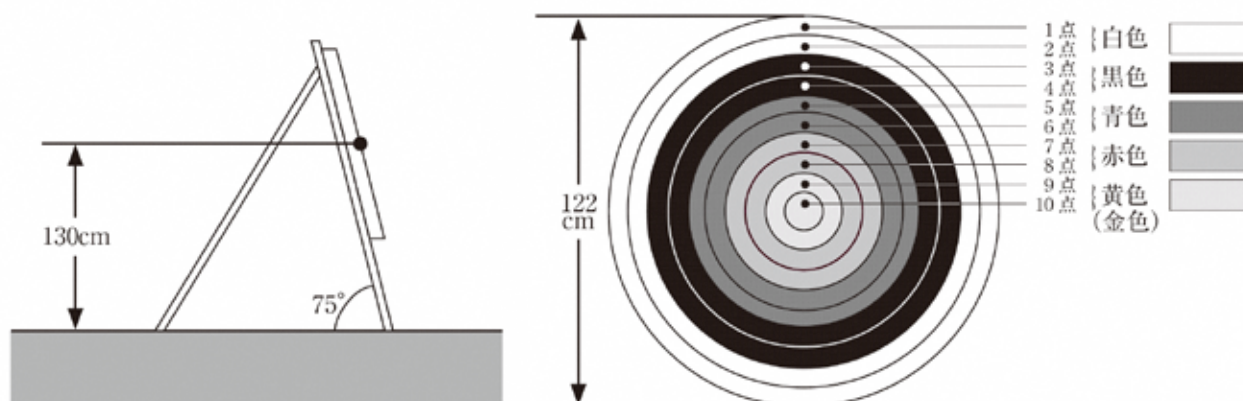
軽くて強い化学繊維を 10～20 本縫り合わせたものを使います。

(矢)

カーボンパイプのシャフトに樹脂系の羽をつけたものを使います。

(標的)

ターゲット（標的）は、直径 122cm の大きさに 5 色にくぎられており、10 段階に点数が分けられています。



過去の成績一覧

第36回				第1位 静岡県				第1位 静岡県				昭和56年			
男女総合				第2位 滋賀県				女子総合				第2位 滋賀県			
びわこ国体				第3位 愛知県				第3位 山口県				滋賀県秦荘町			
種別	区分	第 1 位				第 2 位				第 3 位					
成年男子	団体	A 大河 照福 649 静岡県 1967 伊藤 徳保 645 稲川 篤郎 673				A 浜千代和男 愛知 小笠原 潔 岡村 正彦				A 坂本善三郎 埼玉県 島村 一郎 磯 昌章					
	個人	衣簾 敏明 (長崎) 674(330・344)				稲川 篤郎 (静岡)				松下 和幹 (和歌山)					
成年女子	団体	石津 裕子 628 山口 1796 岡本 英子 586 徳田美由紀 582				野中美智子 東京 野中志保子 岡崎 芳子				増井恵津子 福岡 戸崎 恵子 竹内 みな					
	個人	石津 裕子 (山口) 628(295・333)				戸崎 恵子 (福岡)				阿部 香織 (北海道)					
少年男子	団体	隠樹 正人 607 鳥取 1845 足立 一雄 618 近藤 祥 620				稲角 延章 大阪 岐部 恭史 酒井 良直				近藤 克一 愛知 松本 靖彦 山中 広行					
	個人	森田 幸治 (千葉) 638(300・338)				稲角 延章 (大阪)				斉藤 章司 (福井)					
少年女子	団体	樋口ますみ 604 滋賀 1775 前川 朗子 564 佐々木博美 607				中村 真弓 静岡 名倉 裕子 木内 延子				上村美智留 大阪 大灘三起子 有田 志保					
	個人	日野 輝美 (北海道) 638(301・337)				花田みづほ (神奈川)				上村美智留 (大阪)					
第37回				第1位 大阪府				第1位 青森県・愛知県				昭和57年			
男女総合				第2位 愛知県				女子総合				第2位			
くにびき国体				第3位 東京都				第3位 広島県・山口県				島根県美保関町			
種別	区分	第 1 位				第 2 位				第 3 位					
成年男子	団体	池田 達也 643 大阪 1892 A 味波 喜通 635 久保田和哉 614				原嶋 永寿 東京 森田 雅貴 A 石原 淳伍				稲川 篤郎 静岡 亀井 孝 A 川口 喜博					
	個人	松下 和幹 (和歌山) 653(316・337)				高野 昭 (新潟)				稲川 篤郎 (静岡)					
成年女子	団体	石津 裕子 644 山口 1867 岡本 英子 622 徳田美由紀 601				秋吉由美子 愛知 柴田 昌与 福井 敏子				早稲田敦子 東京 穂苅美奈子 原 一世					
	個人	石津 裕子 (山口) 644(307・337)				秋吉由美子 (愛知)				柴田 昌与 (愛知)					
少年男子	団体	岐部 恭史 631 大阪 1819 岸田 勇 595 大東 直幸 593				宮地 貴裕 愛知 久保田圭三 加藤 直樹				小岩井成夫 神奈川 石川 宏道 三村 直幹					
	個人	小岩井成夫 (神奈川) 633(302・331)				岐部 恭史 (大阪)				宮地 貴裕 (愛知)					
少年女子	団体	上森 典子 603 広島 1772 北 美由紀 590 折村 智子 579				平田 沙弓 大阪 磯江 光代 柴野 早苗				杉山 郁子 青森 横浜 祐子 上明戸茂子					
	個人	川本ともみ (島根) 631(297・334)				上森 典子 (広島)				深田ゆきみ (愛知)					
第38回				第1位 鳥取県				第1位 群馬県				昭和58年			
男女総合				第2位 群馬県				女子総合				第2位 東京都			
あかぎ国体				第3位 東京都・静岡県				第3位 広島県				群馬県川場村			
種別	区分	第 1 位				第 2 位				第 3 位					
成年男子	団体	A 児玉 五郎 628 鳥取 1878 木村 哲二 619 隠樹 正人 631				A 庄司 歳記 兵庫 冠野 仁志 栗栖 章				A 大河 照福 静岡 稲川 篤郎 亀井 孝					
	個人	島村 一郎 (埼玉) 644(304・340)				前川 雅俊 (宮城)				冠野 仁志 (兵庫)					
成年女子	団体	穂苅美奈子 618 東京 1848 小室 光子 590 早稲田敦子 640				伊藤 邦栄 兵庫 多田 信枝 進藤紀代子				村瀬 吉美 愛知 秋吉由美子 早川 敦子					
	個人	村瀬 吉美 (愛知) 650(313・337)				早稲田敦子 (東京)				伊藤 邦栄 (兵庫)					
少年男子	団体	山上 直之 648 鳥取 1903 新宮加寸馬 640 海地 浩樹 615				山内 和彦 大阪 嶋田 光典 北橋 信一				桜庭 秀郎 青森 伊藤 寿孝 棟方 光輝					
	個人	河合 徳之 (静岡) 650(312・338)				山上 直之 (鳥取)				新宮加寸馬 (鳥取)					
少年女子	団体	林 玲子 622 群馬 1814 長井 元子 568 真船由美子 624				杉山 郁子 青森 上明戸成子 佐々木美保子				古田 順子 神奈川 阿知波久美 相崎 芳恵					
	個人	岩波ひろみ (滋賀) 629(304・325)				杉山 郁子 (青森)				真船由美子 (群馬)					

第39回		第1位 静岡県		第1位 北海道		昭和59年	
男女総合		第2位 鳥取県		女子総合 第2位 滋賀県			
わかくさ国体		第3位 北海道		第3位 山口県		奈良県三宅町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	1965	A 川名 均 648 松下 和幹 672 山本 博 645	A 前田栄一郎 越谷 彰元 藤堂 博	静岡	A 大河 照福 古橋 照司 稲川 篤郎
	個人	松下 和幹 (神奈川)	672(324・348)	衣簾 敏明 (長崎)		稲川 篤郎 (静岡)	
成年女子	団体	山口	1768	石津 裕子 604 佐野 英子 595 柴原由美子 569	福岡 鈴木 幸江 吉田 裕美 浦川 記子	東京	穂苅美奈子 野中志保子 早稲田敦子
	個人	石津 裕子 (山口)	604(281・323)	佐野 英子 (山口)		野中志保子 (東京)	
少年男子	団体	鳥取	1816	海地 浩樹 621 山上 直之 594 熊澤 孝平 601	静岡 大澄 孝明 町田 卓也 杉本 幸成	和歌山	鵜田 優一 井川 恵一 西岡 徹勝
	個人	棟方 光輝 (青森)	630(297・333)	海地 浩樹 (鳥取)		町田 卓也 (静岡)	
少年女子	団体	滋賀	1780	大木 豊子 604 藤本 正美 599 堀内 由紀 577	北海道 山本 和美 三浦恵利子 村川かおり	奈良	四方 晴美 吉川 美佐 西村 知子
	個人	児玉 晶子 (鳥取)	633(299・334)	大木 豊子 (滋賀)		藤本 正美 (滋賀)	
第40回		第1位 神奈川県		第1位 鳥取県		昭和60年	
男女総合		第2位 鳥取県		女子総合 第2位 福岡県			
わかとり国体		第3位 北海道・静岡県		第3位 北海道		鳥取県東郷町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	1930	A 川名 均 640 松下 和幹 663 石神 泰彦 627	静岡 A 徳増 慎 古橋 照司 稲川 篤郎	東京	A 石原 淳伍 小野寺長久 森谷 稔
	個人	小野寺長久 (東京)	664(326・338)	松下 和幹 (神奈川)		稲川 篤郎 (静岡)	
成年女子	団体	福岡	1842	浦川 記子 610 近藤 貴美 635 池田 広子 597	山口 石津 裕子 小山 聡子 佐野 英子	山梨	諏訪 景子 石水 年子 大木 豊子
	個人	小山 聡子 (山口)	636(303・333)	近藤 貴美 (福岡)		石津 裕子 (山口)	
少年男子	団体	神奈川	1921	室伏優一郎 632 清水 徹也 643 井上 和宣 646	鳥取 松田 武文 駒場 利生 佐々木健二	岡山	枯木 将克 片岡 善行 大西 崇
	個人	駒場 利生 (鳥取)	646(307・339)	井上 和宣 (神奈川)		清水 徹也 (神奈川)	
少年女子	団体	鳥取	1825	児玉 晶子 646 宮根 幸恵 613 小椋 和子 566	静岡 鹿野 貞子 伊藤亜由美 中野 文枝	青森	鳥谷部郁子 苦米地由加里 四戸 正代
	個人	児玉 晶子 (鳥取)	646(302・344)	村川かおり (北海道)		宮根 幸恵 (鳥取)	
第41回		第1位 神奈川県		第1位 山梨県		昭和61年	
男女総合		第2位 山梨県		女子総合 第2位 神奈川県			
かいじ国体		第3位 北海道		第3位 北海道		山梨県敷島町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	1998	松下 和幹 670 室伏優一郎 669 A 別府 幸治 659	鳥取 松田 武文 山上 直之 A 木村 哲二	福岡	吉村 正秀 村上 清美 水之江規之
	個人	塩田 浩一 (京都)	672(325・347)	松下 和幹 (神奈川)		室伏優一郎 (神奈川)	
成年女子	団体	神奈川	1907	児玉 晶子 652 安田みづほ 648 飯島 久代 607	山梨 大木 豊子 諏訪 景子 石水 年子	山口	石津 裕子 小山 聡子 柴原由美子
	個人	大木 豊子 (山梨)	654(311・343)	児玉 晶子 (神奈川)		安田みづほ (神奈川)	
少年男子	団体	北海道	1876	鎌田 芳彰 662 平田 正信 630 堀内 勝 584	愛知 田島 光浩 坂本圭次郎 蟹江 康	滋賀	山口 雅浩 池野 邦広 湊 充
	個人	鎌田 芳彰 (北海道)	662(325・337)	田島 光浩 (愛知)		坂本圭次郎 (愛知)	
少年女子	団体	山梨	1850	中込佐知子 636 中込 恵子 628 石川 歩 586	静岡 松原 栄子 内藤 公子 内藤 知巳	青森	姉崎優美子 小林 瑞枝 伊藤 佐和
	個人	中込佐知子 (山梨)	636(298・338)	松原 栄子 (静岡)		中込 恵子 (山梨)	

第42回		第1位 神奈川県		第1位 福岡県		昭和62年		
男女総合		第2位 沖縄県		女子総合		第2位 神奈川県・滋賀県		
海邦国体		第3位 福岡県		第3位		沖縄県宜野湾市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川	1915	松下 和幹 655 田中喜美夫 635 A 別府 幸治 625	大阪	太田 謙治 前田栄一郎 藤 堂 博	静岡	古橋 照司 稲川 篤郎 小笠原 誠
	個人	松下 和幹 (神奈川) 655(315・340)		古橋 照司 (静岡)		太田 謙治 (大阪)		
成年女子	団体	神奈川	1838	児玉 晶子 639 安田みづほ 638 飯島 久代 561	福岡	近藤 貴美 村里 栄子 浦川 記子	愛知	山首 一恵 飯田あけみ 石田 佳子
	個人	児玉 晶子 (神奈川) 639(290・349)		安田みづほ (神奈川)		村川かおり (北海道)		
少年男子	団体	沖縄	1901	高良 修一 638 新嵩 善博 635 伊佐 真和 628	神奈川	川上 憲二 高広 和弥 足立 秀樹	北海道	鎌田 芳彰 盛一 成行 桑原 勝弘
	個人	高良 修一 (沖縄) 638(304・334)		新嵩 善博 (沖縄)		高崎 誠 (福岡)		
少年女子	団体	滋賀	1857	三品加奈子 630 近藤 宜子 619 杉山美智子 608	福岡	坂田美穂子 岩山 美保 田中 聡美	静岡	中西 恵美 松原 栄子 近藤 真弓
	個人	大城 春野 (沖縄) 636(307・329)		三品加奈子 (滋賀)		松宮真由美 (福井)		
第43回		第1位 福岡県		第1位 北海道		昭和63年		
男女総合		第2位 北海道		女子総合		第2位 福岡県		
京都国体		第3位 神奈川県		第3位 京都府		京都府日吉町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	神奈川	2002	山本 博 690 松下 和幹 674 佐々木昭一 638	福岡	泉 康宏 村上 清美 養父 修司	A 埜下 正 愛媛 中田 恭弘 渡部 淳	
	個人	山本 博 (神奈川) 690(336・354)		松下 和幹 (神奈川)		吉村 正秀 (鹿児島)		
成年女子	団体	神奈川	1851	児玉 晶子 644 安田みづほ 642 山口佳代子 565	北海道	姉崎優美子 池垣 倫子 門山 美恵	京都	藤本 正美 勝山 裕子 土淵 聡子
	個人	中川さつき (広島) 654(323・331)		児玉 晶子 (神奈川)		近藤 貴美 (福岡)		
少年男子	団体	埼玉	1875	吉田 稔 641 太田 康彦 626 新島 義和 608	広島	藤本 昌悟 中園 祐次 戸田 敦大	高知	小笠原長岳 北村 秀文 田口 誠一
	個人	於久 直人 (滋賀) 654(312・342)		小笠原長岳 (高知)		吉田 稔 (埼玉)		
少年女子	団体	福岡	1861	岡部 由布 633 田中 聡美 619 岩山 美保 609	北海道	高田 芳江 笠井 正子 佐野利恵子	京都	小山美代子 林 康恵 福田 要子
	個人	高田 芳江 (北海道) 642(305・337)		小山美代子 (京都)		岡部 由布 (福岡)		
第44回		第1位 北海道		第1位 北海道		平成元年		
男女総合		第2位 静岡県		女子総合		第2位 福岡県・静岡県		
はまなす国体		第3位 滋賀県・福岡県		第3位		北海道旭川市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	静岡	1954	稲川 篤郎 666 古橋 照司 664 A 広瀬 明 624	神奈川	松下 和幹 内海 啓 A 川西 大介	奈良	A 山城信二郎 上村 乃太 米原 俊章
	個人	松下 和幹 (神奈川) 675(327・348)		稲川 篤郎 (静岡)		古橋 照司 (静岡)		
成年女子	団体	滋賀	1859	大木 豊子 647 三品加奈子 628 小田 洋子 584	北海道	池垣 倫子 村川かおり 姉崎優美子	福岡	近藤 貴美 香月 京子 森永 公子
	個人	池垣 倫子 (北海道) 652(317・335)		大木 豊子 (滋賀)		三品加奈子 (滋賀)		
少年男子	団体	滋賀	1911	赤井 雅宏 648 於久 直人 646 高島 竜象 617	東京	大橋 亨 小櫃 豊彦 相沢 真樹	青森	大山 春秋 室谷 広樹 宮本 健司
	個人	大橋 亨 (東京) 649(313・336)		赤井 雅宏 (滋賀)		於久 直人 (滋賀)		
少年女子	団体	北海道	1885	高田 芳江 638 佐野利恵子 624 山田奈央子 623	広島	長見みどり 栗森 倫代 守屋いづみ	兵庫	池田裕紀子 木場美千代 山下 尚子
	個人	長見みどり (広島) 641(304・337)		高田 芳江 (北海道)		井上鹿代子 (静岡)		

第45回		男女総合		第1位 福岡県	女子総合		第1位 福岡県・静岡県	平成2年
とびうめ国体		第2位 京都府			第2位			
		第3位 広島県			第3位 埼玉県・京都府・広島県		福岡県北九州市	
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位
成年男子	団体	京都	1966	A 上田 訓久 666 西井 賢一 654 尾原 大三 646	広島	A 福島 徹 藤本 昌悟 松本 昌昭	愛知	山田 康宏 蟹江 康 A 岡本 邦雄
	個人	西川 定 (佐賀) 667(320・347)			上田 訓久 (京都)			中田 恭弘 (福岡)
成年女子	団体	東京	1875	早稲田雅子 637 田居麻里子 622 宮本 正子 616	山形	池田 敦美 戸川 桂子 池田 秀美	広島	平末 千秋 市木 玲子 栗森 倫代
	個人	池田 敦美 (山形) 644(312・332)			早稲田雅子 (東京)			伊藤亜由美 (山形)
少年男子	団体	福岡	1905	西川 清一 655 森山 俊郎 627 宮永 雅史 623	沖縄	親泊 竜也 小濱 久師 大茂 正明	神奈川	中島 嘉一 杉井 良治 橋本 祐司
	個人	西川 清一 (福岡) 655(312・343)			親泊 竜也 (沖縄)			加賀山俊幸 (山形)
少年女子	団体	埼玉	1850	長崎 美穂 652 石沢 純子 606 吉田しのぶ 592	京都	矢守 智美 小山 文子 西村 律子	青森	川村由紀子 下田 真弓 若松 禎子
	個人	長崎 美穂 (埼玉) 652(316・336)			小橋川真裕美 (沖縄)			矢守 智美 (京都)
第46回		男女総合		第1位 広島県	女子総合		第1位 石川県	平成3年
石川国体		第2位 石川県			第2位 広島県			
		第3位 静岡県			第3位 静岡県		石川県柳田村	
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位
成年男子	団体	京都	1937	上田 訓久 657 塩田 浩一 645 西井 賢一 635	広島	福島 徹 戸田 敦大 松木 裕二	新潟	高野 昭 岩坂 栄長 長 好春
	個人	西川 清一 (福岡) 659(319・340)			上田 訓久 (京都)			高野 昭 (新潟)
成年女子	団体	広島	1813	長見みどり 610 正守 由紀 604 平末 千秋 599	石川	山首 一恵 岡野 薫 形 美和子	新潟	北原 京子 丸田 薫 小沢 昭子
	個人	北原 京子 (新潟) 640(307・333)			山首 一恵 (石川)			早稲田雅子 (東京)
少年男子	団体	滋賀	1913	松村 庫司 650 西村 拓哉 634 上野 貴裕 629	静岡	平尾 彰浩 宮崎 克巳 嶋津 裕亮	広島	藤原 悟 内藤 宏道 宮崎 庄司
	個人	松村 庫司 (滋賀) 650(309・341)			藤原 悟 (広島)			田中 勝美 (神奈川)
少年女子	団体	静岡	1750	坂本 眞琴 607 持田 牧 586 藤原 久美 557	福岡	村上 千夏 坂口 絵里 黒岩 公美	石川	西又 良美 北西 良枝 井平 勝美
	個人	小橋川真裕美 (沖縄) 620(289・331)			三ッ山香里 (京都)			坂元 眞琴 (静岡)
第47回		男女総合		第1位 広島県	女子総合		第1位 広島県	平成4年
べにばな国体		第2位 北海道			第2位 北海道・山形県			
		第3位 京都府			第3位		山形県鶴岡市	
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位
成年男子	団体	埼玉	1957	A 山本 博 686 松下 和幹 666 鈴木 正男 605	広島	A 戸田 敦大 福島 徹 松木 裕二	京都	上田 訓久 塩田 浩一 A 西井 賢一
	個人	山本 博 (埼玉) 686(335・351)			松下 和幹 (埼玉)			戸田 敦大 (広島)
成年女子	団体	山形	1824	池田 秀美 616 池田 敦美 604 本間 静恵 604	北海道	池垣 倫子 早乙女明子 米澤 昌子	広島	中川さつき 市木 玲子 平末 千秋
	個人	池垣 倫子 (北海道) 621(293・328)			池田 秀美 (山形)			鈴木 知子 (愛知)
少年男子	団体	青森	1847	斉藤 一哉 623 山田 美喜 621 安保 秀昭 603	京都	久我 泰成 山崎 孝志 駒井 祥人	静岡	嶋津 裕亮 小杉 晃一 加藤 昌之
	個人	相蘇 義章 (北海道) 631(294・337)			嶋津 裕亮 (静岡)			松岡 洋之 (広島)
少年女子	団体	広島	1802	大内 愛 618 倉本 美幸 595 内藤 恵美 589	福岡	川上祐佳里 加藤 美紀 池田知佳子	滋賀	角田 義美 竹中麻由美 奥谷しずか
	個人	角田 義美 (滋賀) 620(290・330)			大内 愛 (広島)			山岡 麗子 (神奈川)

第48回				第1位 広島県		第1位 兵庫県・広島県		平成5年		
男女総合				第2位 北海道		女子総合		香川県仲南町		
東四国国体				第3位 香川県		第2位		香川県財田町		
第3位 北海道						第3位 北海道				
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	2015	A 山本 博 676 松下 和幹 673 石鉢 利明 666	北海道	相蘇 義章 清水 浩二 A 茂木 健二	福岡	西川 清一 A 湯村 重人 古賀 秀一		
	個人	山本 博 (埼玉) 676(331・346)			松下 和幹 (埼玉)			石鉢 利明 (埼玉)		
成年女子	団体	兵庫	1802	藤田 玲子 609 谷岡 和子 603 池田裕紀子 590	広島	大内 愛 市木 玲子 平末 千秋	京都	三ッ山香里 森本 淳子 小山美代子		
	個人	持田 牧 (静岡) 620(290・330)			大内 愛 (広島)			三ッ山香里 (京都)		
少年男子	団体	広島	1913	増長 新吾 645 新谷 昌也 634 竹島 昌平 634	大阪	末口 広宣 木下 裕章 榊堅 晋吾	神奈川	藤井 延欣 田代 和繁 加藤 貴之		
	個人	末口 広宣 (大阪) 649(310・339)			増長 新吾 (広島)			坪根 裕樹 (福岡)		
少年女子	団体	広島	1902	堂免 美香 639 片山 奈美 636 脇田 礼子 627	兵庫	洞 真希子 野元 麻里 池上真理子	北海道	斉藤 比咲 大橋 美香 上田 瞳		
	個人	斉藤 比咲 (北海道) 642(306・336)			堂免 美香 (広島)			片山 奈美 (広島)		
第49回				第1位 広島県		第1位 神奈川県		平成6年		
男女総合				第2位 神奈川県		女子総合		第2位 広島県		
わかしゃち国体				第3位 福島県・愛知県		第3位 福岡県		愛知県岡崎市		
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1978	A 松下 和幹 670 山本 博 659 石鉢 利明 649	佐賀	古川 学 西川 定 A 野口 利雄	京都	塩田 浩一 A 西井 賢一 駒井 祥人		
	個人	松下 和幹 (埼玉) 670(324・346)			山本 博 (埼玉)			古川 学 (佐賀)		
成年女子	団体	神奈川	1834	松阪 裕美 622 久保田早苗 608 大木 真理 604	福岡	川上祐佳里 谷口 和子 松枝 滋子	福島	小林 浩子 中野渡留美 稀代 貴子		
	個人	川上祐香里 (福岡) 637(294・343)			松阪 裕美 (神奈川)			大内 愛 (広島)		
少年男子	団体	福島	1933	村越 永人 665 橋本 邦彦 638 箭内 宏行 630	愛知	舟橋 裕樹 高井 武志 小山 敦史	兵庫	尾上 輝樹 真鍋 修二 美淋 康輔		
	個人	村越 永人 (福島) 665(317・348)			舟橋 裕樹 (愛知)			桜井 隼 (東京)		
少年女子	団体	広島	1782	河崎由加里 597 久保田彩子 593 仁井田明美 592	神奈川	寺尾千香庫 若松 由紀 飯島めぐみ	兵庫	富島 優 中山 志保 末田明日香		
	個人	成田美栄子 (青森) 612(285・327)			斉藤 比咲 (北海道)			田原 雅代 (愛知)		
第50回				第1位 福岡県		第1位 広島県		平成7年		
男女総合				第2位 広島県		女子総合		第2位 福島県・愛知県		
ふくしま国体				第3位 愛知県		第3位		福島県三春町		
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	1985	山本 博 685 石鉢 利明 654 A 松下 和幹 646	福岡	坪根 裕樹 A 湯村 重人 古賀 秀一	広島	戸田 敦大 松木 裕二 A 松本 昌昭		
	個人	山本 博 (埼玉) 685(335・350)			石鉢 利明 (埼玉)			堀川 肇充 (香川)		
成年女子	団体	福島	1887	小林 浩子 648 稀代 貴子 626 中野渡留美 613	広島	大内 愛 河崎由加里 市木 玲子	福岡	熊谷 愛 谷口 和子 森永 公子		
	個人	小林 浩子 (福島) 648(307・341)			曾根早余子 (香川)			大内 愛 (広島)		
少年男子	団体	福岡	1919	田原 要 650 松田 浩行 646 田代 裕也 623	愛知	鴨下 勝 舟橋 裕樹 山崎 誠	神奈川	霜村 隆史 三浦 佑 相馬 揚介		
	個人	鴨下 勝 (愛知) 656(312・344)			村越 永人 (福島)			田原 要 (福岡)		
少年女子	団体	広島	1721	植野 愛美 590 岩 重 景 578 沖本 美詠 553	愛知	田原 雅代 岩井由香里 増井のぞみ	鳥取	平山 真弓 小林 恵美 後藤 美絵		
	個人	小出美沙都 (大分) 609(286・323)			新藤南海子 (沖縄)			田原 雅代 (愛知)		

第51回				第1位 広島県				第1位 広島県				平成8年							
男女総合				第2位 福岡県				女子総合				第2位 愛知県・佐賀県							
ひろしま国体				第3位 北海道・兵庫県				第3位				広島県呉市							
種別	区分	第 1 位						第 2 位						第 3 位					
成年男子	団体	山本 博 673 埼玉 1997 A 松下 和幹 667 石鉢 利明 657						福岡 A 湯村 重人 坪根 裕樹 松田 浩行						兵庫 井上 勝治 尾上 輝樹 A 橋本 博行					
	個人	末口 広宣 (大阪) 678(334・344)						上村 乃太 (奈良)						山本 博 (埼玉)					
成年女子	団体	浅野 真弓 653 佐賀 1917 児玉 絹枝 648 濱本 統子 616						広島 平末 千秋 市木 玲子 中川さつき						神奈川 大木 真理 山岡 麗子 佐藤 知香					
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 653(315・338)						大木 真理 (神奈川)						児玉 絹枝 (佐賀)					
少年男子	団体	坂本 識史 651 広島 1907 近藤 豊将 650 北風 智章 606						福岡 橋岡 昭仁 福島 岳彦 吉光 隆敏						兵庫 土井 隆嗣 竹井 智宏 永井 大貴					
	個人	橋岡 昭二 (福岡) 664(323・341)						高木 博康 (北海道)						高松 大輔 (三重)					
少年女子	団体	大平 泉美 636 愛知 1846 田原 雅代 626 宇野 久恵 584						山口 岡本 愛 牧原 澄枝 勝谷 美紀						北海道 大湊 育美 小林 友美 保里 雅美					
	個人	大平 泉美 (愛知) 636(298・338)						岡本 愛 (山口)						平田 光代 (熊本)					
第52回				第1位 北海道				第1位 兵庫県				平成9年							
男女総合				第2位 大阪府				女子総合				第2位 北海道・佐賀県							
なみはや国体				第3位 静岡県				第3位				大阪府堺市							
種別	区分	第 1 位						第 2 位						第 3 位					
成年男子	団体	山縣朝太郎 643 静岡 1865 菊池 功吉 614 A 古橋 照司 608						大阪 末口 広宣 湯脇 英夫 A 木下 太一						福島 上田 訓久 村越 永人 A 小野 勉					
	個人	山縣朝太郎 (静岡) 643(310・333)						末口 広宣 (大阪)						湯脇 英夫 (大阪)					
成年女子	団体	浅野 真弓 660 佐賀 1909 児玉 絹枝 633 中島華奈子 616						福岡 川内紗代子 川上祐佳里 谷口 和子						神奈川 大木 真理 山岡 麗子 加藤麻里子					
	個人	浅野 真弓 (佐賀) 660(322・338)						寄谷 文 (石川)						川内紗代子 (福岡)					
少年男子	団体	北村 純一 593 北海道 1758 國田 卓 584 福原 裕 581						滋賀 林 達也 伊藤 公一 増田 貴彦						大阪 中原 啓隆 島本 洋介 稲本 雅由					
	個人	加藤 桂規 (愛知) 622(292・330)						北村 純一 (北海道)						林 達也 (滋賀)					
少年女子	団体	大湊 育美 594 北海道 1669 竹本 恭子 541 小林 友美 534						兵庫 鴨志田朋子 坪内 美沙 福本 綾子						熊本 平田 光代 田口香奈子 島田亜紀子					
	個人	大湊 育美 (北海道) 594(265・329)						鴨志田朋子 (兵庫)						平田 光代 (熊本)					
第53回				第1位 神奈川県・兵庫県				第1位 兵庫県				平成10年							
男女総合				第2位				女子総合				第2位 北海道							
かながわ・ゆめ国体				第3位 広島県				第3位 神奈川県・広島県・大分県				神奈川県湯河原町							
種別	区分	第 1 位						第 2 位						第 3 位					
成年男子	団体	島村 一郎 659 埼玉 1968 山下 毅 657 戸手 隆盛 652						大阪 稲本 雅由 木下 太一 横山 武史						山口 妹尾 克己 吉富 和成 坪根 裕樹					
	個人	稲本 雅由 (大阪) 678(331・347)						村越 永人 (福島)						妹尾 克己 (山口)					
成年女子	団体	岩崎 友加 636 兵庫 1893 永田 淑子 633 末田明日香 624						広島 河崎由加里 宮地 玲子 山田三千代						群馬 瀧野 真子 渡辺恵美子 百海 悦子					
	個人	河崎由加里 (広島) 652(312・340)						瀧野 真子 (群馬)						倉本 美幸 (徳島)					
少年男子	団体	加藤 桂規 655 愛知 1946 青山 哲也 652 松崎 正 639						広島 中濱 賢一 濱野 裕二 森本 智法						岩手 角 清一 中村 守克 植村 太也					
	個人	加藤 桂規 (愛知) 655(311・344)						中濱 賢一 (広島)						青山 哲也 (愛知)					
少年女子	団体	田中 紗代 642 兵庫 1876 野澤 陽子 637 山路 陽子 597						大分 山本 恵美 住川 裕香 松下紗耶未						富山 米田美代子 中陳 貴保 鍵田 里絵					
	個人	中村梨紗子 (北海道) 652(313・339)						田中 紗代 (兵庫)						野澤 陽子 (兵庫)					

第54回		第1位 広島県		第1位 広島県・福岡県		平成11年		
男女総合		第2位 佐賀県		女子総合		第2位		
くまもと・未来国体		第3位 福岡県		第3位 愛知県		熊本県菊陽町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	238	松下 和幹 山本 博 山下 毅	佐賀	牧山 雅文 野口 利雄 松田 泰典	広島	吉田 誠志 濱野 裕二 松本 昌昭
	個人	原口 航 (熊本)	1281(292・326・321・342)	松下 和幹 (埼玉)		山本 博 (埼玉)		
成年女子	団体	愛知	216	宇野 久恵 榊原 明美 大平 泉美	兵庫	永田 淑子 坪内 美沙 岩崎 友加	福岡	川内紗代子 宗 幸代 安部 由比
	個人	永田 淑子 (兵庫)	1268(315・320・299・334)	川内 紗代子 (福岡)		坪内 美沙 (兵庫)		
少年男子	団体	広島	195	松本 匡司 下田 辰也 重谷圭詞郎	佐賀	井上 紀行 井原 良彦 山本 祥平	千葉	神崎 勝己 星野 大士 水原 良光
	個人	大井 隼 (富山)	1259(285・310・324・340)	青山 哲也 (愛知)		井上 紀行 (佐賀)		
少年女子	団体	広島	213	新谷 幸子 木村 律子 福田 笑子	福岡	森田 由子 陣原 千紘 蔵原ともみ	滋賀	井上 敏美 青木 麻理 石田 弓子
	個人	松下紗耶未 (大分)	1265(305・321・311・328)	橋戸 由梨 (岐阜)		細田 風子 (奈良)		
第55回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成12年		
男女総合		第2位 山形県・大阪府・兵庫県・熊本県		女子総合		第2位 山形県		
2000年とやま国体		第3位		第3位 熊本県		富山県宇奈月町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	228	松下 和幹 山本 博 脇野 智和	大阪	末口 広宣 島本 洋介 稲本 雅由	愛知	高井 武志 村井 啓毅 松崎 正
	個人	山本 博 (埼玉)	1308(286・331・341・350)	井上 喜正 (滋賀)		松下 和幹 (埼玉)		
成年女子	団体	広島	220	河崎由加里 宮地 玲子 三浦由紀子	山口	岡本 洋子 佐野 英子 勝谷 美紀	山形	奥山 美樹 五十嵐愛加 榎本 静香
	個人	浅野 真弓 (佐賀)	1306(315・322・312・347)	川内紗代子 (福岡)		河崎由加里 (広島)		
少年男子	団体	兵庫	232	岡田 和典 北山 大輔 藤井 康史	佐賀	打越 大輔 岩崎 圭介 千住 幸輝	大阪	今井 裕之 荒川 勇輔 岡本 春一
	個人	林 和弘 (群馬)	1237(281・311・308・337)	宇佐美剛史 (愛知)		中山 由一 (熊本)		
少年女子	団体	熊本	206	松田有紀美 橋本 晃子 濱口いづみ	山形	渡部 千里 庄司恵美子 齋藤 明美	広島	新谷 幸子 福田 笑子 木村 律子
	個人	浦田由佳子 (富山)	1247(301・318・295・333)	橋本 晃子 (熊本)		吉富 舞香 (大分)		
第56回		第1位 兵庫県		第1位 兵庫県		平成13年		
男女総合		第2位 愛知県		女子総合		第2位 山形県		
新世紀・みやぎ国体		第3位 富山県・滋賀県		第3位 愛知県		宮城県東和町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	239	松下 和幹 山本 博 脇野 智和	広島	濱野 裕二 戸田 敦大 吉田 誠志	愛知	高井 武志 青山 哲也 松崎 正
	個人	山本 博 (埼玉)	1307(295・325・332・355)	濱野 裕二 (広島)		塩田 浩一 (京都)		
成年女子	団体	兵庫	218	坪内 美沙 永田 淑子 野澤 陽子	滋賀	井上 敏美 高山 康代 高瀬 真希	山形	奥山 美樹 五十嵐愛加 榎本 静香
	個人	浅野 真弓 (佐賀)	1306(313・334・318・341)	坪内 美沙 (兵庫)		河崎由加里 (広島)		
少年男子	団体	富山	236	前本 卓 佐藤 彰一 清水 洋兵	佐賀	本山 隆道 松本 康太 渡邊 健太	滋賀	上村 展弘 長村 邦彦 藤田 真和
	個人	赤坂 清 (宮城)	1258(281・317・319・341)	長村 邦彦 (滋賀)		伊賀 崇人 (香川)		
少年女子	団体	兵庫	239	瀬川ゆかり 林 勇気 末陰 章奈	宮城	及川 亜由 大山 幸恵 山田 舞	愛知	長田 直美 大原 彩 柴田 愛美
	個人	瀬川ゆかり (兵庫)	1279(302・320・309・348)	長田 直美 (愛知)		吉丸まき子 (佐賀)		

第57回		第1位 佐賀県		第1位 滋賀県		平成14年	
男女総合		第2位 滋賀県		女子総合		第2位 佐賀県	
よさこい・高知国体		第3位 埼玉県・静岡県		第3位 京都府		高知県梼原町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	埼 玉	241	松下 和幹 山本 博 重谷圭詞郎	岡山 加藤 秀人 湯脇 英夫 木村 明弘	東 京	田中 敬一 木村 正純 沼崎美紀夫
	個人	山本 博 (埼 玉)	1219(247・314・310・348)	中平 伸一 (大 阪)	門倉 真人 (神奈川)		
成年女子	団体	京 都	229	福島 美幸 塩田 佳苗 上野百百子	滋 賀 西川千加子 堀井 智美 井上 敏美	群 馬	渡辺恵美子 新井えりか 百海 悦子
	個人	榎本 静香 (山 形)	1242(286・316・301・339)	浅野 真弓 (佐 賀)	福島 美幸 (京 都)		
少年男子	団体	静 岡	232	柴田 裕之 松井 寛和 永田 雅也	広 島 菊地 栄樹 中村 仁 瀬尾 聡裕	佐 賀	松本 康太 石丸 友秋 山田 健作
	個人	古川 高晴 (青 森)	1154(221・302・294・337)	島村 健一 (埼 玉)	赤坂 清 (宮 城)		
少年女子	団体	滋 賀	230	梶原 百恵 大橋 裕子 山田 好美	兵 庫 瀬川ゆかり 坂田安紀子 林 勇 気	青 森	大浦真紀子 前田 実季 高森 良子
	個人	瀬川ゆかり (兵 庫)	1217(292・301・295・329)	猪股 香菜 (宮 城)	馬場可那子 (佐 賀)		
第58回		第1位 大分県		第1位 大分県		平成15年	
男女総合		第2位 静岡県・大阪府・広島県		女子総合		第2位 富山県	
NEW!!わかふじ国体		第3位		第3位 兵庫県		静岡県榛原町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	大 阪	207	守屋 龍一 西川 清一 浦名 直樹	東 京 木村 正純 田中 敬一 沼崎美紀夫	静 岡	古橋 照司 山縣朝太郎 松井 寛和
	個人	山本 博 (埼 玉)	1310(315・322・317・356)	脇野 智和 (埼 玉)	守屋 龍一 (大 阪)		
成年女子	団体	兵 庫	162	川内紗代子 林 勇 気 瀬川ゆかり	広 島 森田 由美 河崎由加里 新谷 幸子	静 岡	近藤 真弓 鈴木久美子 鈴木早緒美
	個人	松下紗耶未 (大 分)	1307(323・327・312・345)	川内紗代子 (兵 庫)	林 勇気 (兵 庫)		
少年男子	団体	広 島	171	中村 仁 菊地 栄樹 栗栖 正臣	大 阪 小橋口圭彦 加守 弘明 橋本 和紀	大 分	天野 良太 平原 圭章 大野 祐貴
	個人	中村 仁 (広 島)	1281(295・315・327・344)	菊地 栄樹 (広 島)	天野 良太 (大 分)		
少年女子	団体	大 分	173	岡部 恵奈 柴尾佳なえ 森本 舞	京 都 豊山 絵菜 谷口枝璃子 岡崎 路恵	滋 賀	伊勢村祐紀 南 知 里 小川 紗輝
	個人	岡部 恵奈 (大 分)	1259(299・325・296・339)	三上 希望 (青 森)	太田 友美 (愛 知)		
第59回		第1位 北海道・神奈川県		第1位 北海道・佐賀県・長崎県		平成16年	
男女総合		第2位		女子総合		第2位	
彩の国まごころ国体		第3位 埼玉県・富山県・広島県		第3位		埼玉県宮代町	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	熊 本	233	坂本 隆輝 植田 浩太 中山 由一	長 野 丸山 貴之 小池 栄太 井原 一厳	埼 玉	山本 博 脇野 智和 島村 健一
	個人	山本 博 (埼 玉)	1314(309・332・322・351)	脇野 智和 (埼 玉)	田中 敬一 (東 京)		
成年女子	団体	佐 賀	232	浅野 真弓 馬場可那子 吉丸まき子	山 形 榎本 静香 三浦 美樹 渡部 千里	鳥 取	木内絵美子 山崎 麻衣 山根 麻貴
	個人	浅野 真弓 (佐 賀)	1310(313・333・319・345)	榎本 静香 (山 形)	大塚 妙子 (神奈川)		
少年男子	団体	奈 良	221	福田 圭宏 上田 博紀 恒岡 新力	北海道 石山 純平 中田 修平 古川 大	広 島	松本 彰平 北木 秀司 出本 敬明
	個人	福田 圭宏 (奈 良)	1262(288・311・319・344)	築地 和也 (福 岡)	松本 彰平 (広 島)		
少年女子	団体	北海道	201	西川 祐未 安田 聡美 中山 美希	大 分 後藤 緑 麻生 佳子 坂井 綾乃	和歌山	琴浦 深雪 大津紗綾香 谷口 雅子
	個人	新井 麻美 (埼 玉)	1260(300・324・298・338)	西川 祐未 (北海道)	後藤 緑 (大 分)		

第60回			第1位 京 都 府		第1位 京 都 府		平成17年	
男女総合			第2位 広 島 県・香 川 県		女子総合		第2位 富 山 県	
晴れの国おかやま国体			第3位		第3位 兵 庫 県		岡山県日生町	
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	広 島	233	菊地 栄樹 松本 彰平 中村 仁	静 岡	松井 寛和 古橋 照司 山縣朝太郎	香 川	伊賀 嵩人 廣瀬 基 本多 道雄
	個人	那須 皇嗣 (和歌山) 632(311・321)			菊地 栄樹 (広 島)		天野 良太 (大 分)	
成年女子	団体	兵 庫	220	北畠紗代子 林 勇 気 瀬川 ゆかり	京 都	上野百百子 山 田 恵 坂井 茉帆	富 山	柚木 千春 寺田 春菜 広野 麻衣
	個人	浅野 真弓 (佐 賀) 622(319・303)			柚木 千春 (富 山)		仲肥由里子 (岡 山)	
少年男子	団体	長 野	230	山崎 由晃 齊藤 一平 宮下 朋幸	京 都	金村 賢 塩見 秀馬 木下 翔平	宮 城	松木 俊道 工藤 靖也 伊藤 和也
	個人	金村 賢 (京 都) 628(312・316)			松木 俊道 (宮 城)		福田 圭宏 (奈 良)	
少年女子	団体	京 都	221	藤 田 梓 藤井千紗子 岡 育 美	和歌山	前山明日香 三垣日登美 濱田 紘代	福 岡	大家くる美 国武 綾子 貫野まいこ
	個人	前山明日香 (和歌山) 583(300・283)			松浦由加子 (富 山)		西川 祐未 (北海道)	
第61回			第1位 広 島 県		第1位 広 島 県		平成18年	
男女総合			第2位 神奈川県		女子総合		第2位 佐 賀 県	
のじぎく兵庫国体			第3位 佐 賀 県		第3位 群 馬 県		兵庫県加東市	
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	神奈川	196	門倉 真人 橋本 千秋 田畑 隼剛	長 野	丸山 貴之 宮原 雅 宮下 朋幸	兵 庫	末口 広宣 藤井 康史 山本 諒
	個人	天野 良太 (大 分) 619(307・312)			末口 広宣 (兵 庫)		脇野 智和 (埼 玉)	
成年女子	団体	静 岡	183	鈴木久美子 近藤 真弓 村田 有香	広 島	河崎由加里 三木 典子 森田 由美	神奈川	松坂 裕美 早 川 浪 大塚 妙子
	個人	南 知里 (滋 賀) 633(320・313)			早川 浪 (神奈川)		浅野 真弓 (佐 賀)	
少年男子	団体	広 島	210	小林 史弥 松本 皓太 炭本 拓郎	青 森	山本 陽一 笹森 将来 山田 祐嗣	愛 知	坂野 太一 大 島 淳 土岐 秀幸
	個人	岩本 雅英 (埼 玉) 590			西村 義貴 (長 崎)		坂野 太一 (愛 知)	
少年女子	団体	群 馬	185	松本 千晶 林 享 美 小林 絵美	広 島	圖師未希絵 矢田具静江 小西 由華	愛 知	青山絵美子 新 海 彩 蟹江 美貴
	個人	坂本いつか (香 川) 579(281・298)			圖師未希絵 (広 島)		渡邊なつき (大 阪)	
第62回			第1位 佐 賀 県		第1位 静 岡 県・佐 賀 県		平成19年	
男女総合			第2位 愛 知 県		女子総合		第2位	
秋田わか杉国体			第3位 兵 庫 県		第3位 滋 賀 県・大 阪 府		秋田県北秋田市	
種別	区分	第 1 位			第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	兵 庫	212	末口 広宣 藤井 康史 山本 諒	大 分	天野 良太 大野 佑貴 石津 優	大 阪	古川 高晴 土井 友幹 守屋 龍一
	個人	古川 高晴 (大 阪) 671(337・334)			宮原 雅 (長 野)		田畑 隼剛 (神奈川)	
成年女子	団体	静 岡	203	近藤 真弓 鈴木久美子 長岡 光江	滋 賀	伊勢村祐紀 南 知 里 井上 敏実	和歌山	濱田 紘代 三垣日登美 前山明日香
	個人	北畠紗代子 (兵 庫) 639(323・316)			前山明日香 (和歌山)		浅野 真弓 (佐 賀)	
少年男子	団体	佐 賀	200	美野田晃大 吉永 弘幸 岩田 健祐	愛 知	土岐 秀幸 大 島 淳 坂野 太一	東 京	牧野 吉朗 佐藤 博乙 奥野 晃太
	個人	坂野 太一 (愛 知) 648(325・323)			大島 淳 (愛 知)		牧野 吉朗 (東 京)	
少年女子	団体	佐 賀	198	東川映巳厘 小部恵理子 辛川 英里	大 阪	上山 咲 岡本 章子 大 嶋 恵	新 潟	佐野 雅恵 山口 美紅 佐野 萌美
	個人	圖師未希絵 (広 島) 644(324・320)			佐野 雅恵 (新 潟)		大長 愛実 (静 岡)	

第63回				第1位 広島県		第1位 和歌山県		平成20年		
男女総合				第2位 佐賀県		女子総合		第2位 静岡県・兵庫県		
チャレンジ！おおい国体				第3位 神奈川県		第3位		大分県由布市		
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	佐賀	218	吉永 弘幸 美野田晃大 岩田 健祐	広島	戸田 敦大 菊地 栄樹 小林 史弥	愛知	坂野 太一 土岐 秀幸 大島 淳		
	個人	古川 高晴 (大阪) 676(340・336)			菊地 栄樹 (広島)			田畑 隼剛 (神奈川)		
成年女子	団体	静岡	206	近藤 真弓 鈴木久美子 長岡 光江	神奈川	早川 浪 伊藤 浩子 高沢 梨恵	和歌山	前山明日香 三垣日登美 谷口 雅子		
	個人	早川 浪 (神奈川) 663(331・332)			長岡 光江 (静岡)			林 勇気 (京都)		
少年男子	団体	佐賀	204	末武 寛基 溝口 和輝 前野 修吾	長崎	渡邊 祐樹 静里 祥平 楠本 記也	静岡	内田 陽 小笠原琢磨 望月 洸太		
	個人	内田 陽 (静岡) 658(332・326)			前野 修吾 (佐賀)			佐藤 雅彦 (大分)		
少年女子	団体	兵庫	194	松永安紗子 足立 奈穂 池内 麻実	広島	圖師未希絵 加藤 彩 泉 陽香	和歌山	吉原 智恵 鈴木 葵 井上 万稚		
	個人	吉原 智恵 (和歌山) 628(315・313)			圖師未希絵 (広島)			松永安紗子 (兵庫)		
第64回				第1位 大分県		第1位 大分県		平成21年		
男女総合				第2位 北海道		女子総合		第2位 北海道・兵庫県		
トキめき新潟国体				第3位 神奈川県・静岡県		第3位		新潟県燕市		
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	大阪	214	古川 高晴 松下 太生 守屋 龍一	神奈川	池田 匡幸 田畑 隼剛 橋本 千秋	佐賀	美野田晃大 吉永 弘幸 末武 寛基		
	個人	菊地 栄樹 (広島) 651(327・324)			田畑 隼剛 (神奈川)			古川 高晴 (大阪)		
成年女子	団体	兵庫	197	早川 浪 足立 奈穂 松永安紗子	大分	安部 貴恵 管 真依子 松下紗耶未	静岡	近藤 真弓 齊藤 彩香 長岡 光江		
	個人	長岡 光江 (静岡) 630(319・311)			前山明日香 (和歌山)			寺井 真美 (熊本)		
少年男子	団体	広島	196	大田 昌平 村田 勇樹 小岩 創司	北海道	岸塚 祥矢 蓬田 昌伸 吉田 幸平	宮城	駒板 佳樹 佐々木那王 山田 卓		
	個人	小笠原琢磨 (静岡) 620(311・309)			岸塚 祥矢 (北海道)			佐藤 克紀 (神奈川)		
少年女子	団体	北海道	206	田中明日香 鈴木 彩夏 家後 美里	長崎	大久保 舞 川渕 真弓 樋口 栞菜	大分	森岡 明菜 日向瀬 碧 加藤 綾乃		
	個人	川中香緒里 (鳥取) 633(319・314)			加藤 綾乃 (大分)			田中明日香 (北海道)		
第65回				第1位 大分県		第1位 大分県		平成22年		
男女総合				第2位 広島県		女子総合		第2位 神奈川県		
ゆめ半島千葉国体				第3位 静岡県		第3位 青森県・愛知県		千葉県船橋市		
種別	区分	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
成年男子	団体	広島	221	菊地 栄樹 大田 昌平 小林 史弥	大分	天野 良太 金子 令 佐藤 雅彦	北海道	松原 孝臣 本間 隼人 蓬田 昌伸		
	個人	土岐 秀幸 (愛知) 652(327・325)			佐藤 博乙 (東京)			西村 義貴 (長崎)		
成年女子	団体	愛知	214	新海 彩 平 美香 蟹江 美貴	大分	緒方 里美 小出美沙都 松下紗耶未	和歌山	前山明日香 張間 舞妃 鈴木 葵		
	個人	早川 漣 (神奈川) 644(321・323)			長岡 光江 (岐阜)			前山明日香 (和歌山)		
少年男子	団体	大分	213	草野 雅人 阿部 慧史 吉田 真也	滋賀	今井 雅樹 尾崎 寛人 伊吹 友寿	岡山	江口 直樹 竹田 太郎 平山 晃基		
	個人	鬼山 直也 (山梨) 638(312・326)			江口 直樹 (岡山)			平山 晃基 (岡山)		
少年女子	団体	青森	205	斎藤 春菜 柏崎 寛奈 浅利 萌衣	大分	加藤 綾乃 佐藤真奈美 日向瀬 碧	静岡	杉林 りな 大石麻紀子 河合 希美		
	個人	佐藤真奈美 (大分) 616(313・303)			加藤 綾乃 (大分)			斎藤 春菜 (青森)		

第66回		第1位 東京都・広島県		第1位 青森県・山梨県・大阪府		平成23年		
男女総合		第2位		女子総合		第2位		
おいでませ山口国体		第3位 滋賀県		第3位		山口県周防大島町		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	広島	212	大田 昌平 小岩 創司 戸田 敦大	東京	本間 薫 佐藤 博乙 木村 正純	北海道	本間 隼人 佐々木和真 松原 孝臣
	個人	山本 悠太 (兵庫)		663(334・329)	土岐 秀幸 (愛知)		田畑 隼剛 (神奈川)	
成年女子	団体	大阪	209	大嶋 恵 遊佐 萌藍 西村 紗芳	兵庫	足立 奈穂 松永安紗子 北畠紗代子	大分	立川 枝里 佐藤真奈美 加藤 綾乃
	個人	平 美香 (愛知)		627(308・319)	前山明日香 (静岡)		林 勇気 (京都府)	
少年男子	団体	滋賀	208	南橋 勇輝 今井 雅樹 丸居昇太郎	東京	高野 晃 上妻 敬知 遠藤 優	広島	中村 翔 末田 翔司 山本 和樹
	個人	中村 翔 (広島)		651(326・325)	今井 雅樹 (滋賀)		阿部 慧史 (大分)	
少年女子	団体	山梨	204	鬼山 美佳 永田 有紗 菊池 百花	京都	木村 真有 伊藤佐保梨 森本麻友美	神奈川	長網 美樹 及川 未稀 臼井 美記
	個人	杉林 りな (静岡)		619(314・305)	鬼山 美佳 (山梨)		原野 華子 (福岡)	
第67回		第1位 広島県		第1位 岐阜県		平成24年		
男女総合		第2位 和歌山県		女子総合		第2位 長崎県		
ぎふ清流国体		第3位 大分県		第3位 広島県		岐阜県高山市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	埼玉	215	松井 孝夫 喜多田治彦 清水 雅英	広島	菊地 栄樹 大田 昌平 小林 史弥	東京	山本 博 佐藤 博乙 小林 慧
	個人	田畑 隼剛 (神奈川)		672(334・338)	山本 博 (東京)		松井 孝夫 (埼玉)	
成年女子	団体	大分	216	松下紗耶未 加藤 綾乃 佐藤真奈美	長崎	早川 漣 大久保 舞 永峰 沙織	岐阜	長岡 光江 西村 紗芳 奥山 麻子
	個人	早川 漣 (長崎)		649(322・327)	椎谷 直美 (神奈川)		川中香緒里 (鳥取)	
少年男子	団体	和歌山	211	津田 勇志 栗田 清貴 山田 啓睦	青森	三浦 雄樹 舘山 大基 千葉 恭平	大阪	住友 雅治 岡田 拓己 杉尾 知輝
	個人	河田 悠希 (広島)		655(330・325)	津田 勇志 (和歌山)		水野 彰洋 (愛知)	
少年女子	団体	静岡	189	杉本 智美 鳥居 佳世 伊藤真由美	滋賀	吉田 淳子 服部 由莉 西野 汐梨	広島	坪田 沙織 松本 彩音 樽本 香奈
	個人	西野 汐梨 (滋賀)		618(305・313)	杉本 智美 (静岡)		松本 彩音 (広島)	
第68回		第1位 広島県		第1位 広島県		平成25年		
男女総合		第2位 愛知県・和歌山県		女子総合		第2位 愛知県		
スポーツ祭東京		第3位		第3位 青森県・山梨県		東京都三鷹市		
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位		
成年男子	団体	福岡	210	白附 亮 今井 拓麻 前田 悠帆	大分	天野 良太 大野 佑貴 金子 令	滋賀	尾崎 寛人 今井 雅樹 杉本 翔太
	個人	菊地 栄樹 (広島)		662(330・332)	山内 敬介 (神奈川)		石津 優 (広島)	
成年女子	団体	愛知	204	新海 彩 平 美香 蟹江 美貴	広島	石田明日香 松本 彩音 圖師未希絵	長崎	早川 漣 川渕 真弓 久原 千夏
	個人	早川 漣 (長崎)		651(322・329)	杉林 りな (静岡)		蟹江 美貴 (愛知)	
少年男子	団体	和歌山	213	山田 啓睦 坂本 一磨 倉矢 知明	広島	河田 悠希 岡本 靖寛 狩山 勇輝	愛知	不破 俊典 近藤 直哉 武藤 弘樹
	個人	杉尾 知輝 (大阪)		650(324・326)	河田 悠希 (広島)		鬼山 直也 (山梨)	
少年女子	団体	広島	208	小城 碧 山本紗矢香 吉山 唯	山梨	小野 綾香 菊池 百花 清水 遥	和歌山	古田 悠 殿田 留巳 平川 仁巳
	個人	古田 悠 (和歌山)		619(309・310)	小城 碧 (広島)		宮木芙美代 (青森)	

第69回		第1位 長崎県	第1位 長崎県	平成26年
男女総合		第2位 滋賀県	女子総合	第2位 青森県・山梨県・京都府
長崎がんばらば国体		第3位 静岡県・広島県	第3位	長崎県佐世保市
種別	区分	第1位	第2位	第3位
成年男子	団体	神奈川 大井 一輝 田畑 隼剛 大貫 渉	滋賀 尾崎 寛人 今井 雅樹 杉本 翔汰	大分 金子 令 大野 佑貴 天野 良太
	個人	菊地 栄樹 (広島) 647(317・330)	鬼山 直也 (山梨)	尾崎 寛人 (滋賀)
成年女子	団体	長崎 早川 漣 川渕 真弓 永峰 沙織	静岡 杉本 智美 杉林 りな 長岡 光江	京都 林 勇気 足立 奈穂 長村 恵里
	個人	川中香緒里 (鳥取) 667(329・338)	早川 漣 (長崎)	林 勇気 (京都)
少年男子	団体	広島 河田 悠希 泉 雄也 奥 勇登	滋賀 山本 雅也 宇野 優人 和田 聖矢	小笠原奨悟 静岡 村井孝太郎 小川 哲生
	個人	河田 悠希 (広島) 643(319・324)	古賀 翔汰 (佐賀)	倉矢 知明 (和歌山)
少年女子	団体	山梨 村木 友里 小野 綾香 清水 遥	長崎 濱田なつき 瀬川 聖奈 福島 央子	宮本英美代 青森 檜館 紗希 松浦 実輝
	個人	小林 加奈 (福岡) 611(291・320)	濱田なつき (長崎)	若藤綺英羅 (愛媛)
第70回		第1位 滋賀県	第1位 滋賀県・長崎県	平成27年
男女総合		第2位 広島県	女子総合	第2位
紀の国わかやま国体		第3位 和歌山県・青森県・長崎県	第3位 京都府	和歌山県日高川町
種別	区分	第1位	第2位	第3位
成年男子	団体	滋賀 尾崎 寛人 山本 雅也 杉本 翔太	和歌山 古川 高晴 土井 友幹 津田 勇志	広島 菊地 栄樹 岩田 歩 大田 昌平
	個人	古川 高晴 (和歌山) 662(329・333)	尾崎 寛人 (滋賀)	山本 雅也 (滋賀)
成年女子	団体	静岡 長岡 光江 杉林 りな 杉本 智美	群馬 深澤 菜見 小川 千絵 遠間あずさ	京都 林 勇気 足立 奈穂 田中 仁菜
	個人	川中香緒里 (鳥取) 663(334・329)	古田 悠 (和歌山)	杉本 智美 (静岡)
少年男子	団体	広島 河田 悠希 泉 雄也 奥 勇登	福岡 永友 隼斗 塚本 和広 古賀 大輝	千葉 齋藤 幸 高野橋良篤 大吉 悠介
	個人	河田 悠希 (広島) 667(337・330)	泉 雄也 (広島)	溝脇 史也 (長崎)
少年女子	団体	滋賀 松川 智子 田中 千尋 井上 綾乃	長崎 瀬川 聖奈 岸川 榛菜 相川 一葉	愛媛 奥村 佳子 矢野 朝香 若藤綺英羅
	個人	奥村 佳子 (愛媛) 607(304・303)	瀬川 聖奈 (長崎)	中野 遥 (千葉)
第71回		第1位 滋賀県	第1位 静岡県	平成28年
男女総合		第2位 静岡県	女子総合	第2位 愛媛県
希望郷いわて国体		第3位 長崎県	第3位 東京都	岩手県雫石町
種別	区分	第1位	第2位	第3位
成年男子	団体	神奈川 田畑 隼剛 大井 一輝 大貫 渉	滋賀 尾崎 寛人 山本 雅也 杉本 翔太	広島 菊地 栄樹 岩田 歩 河田 悠希
	個人	池田 亮 (東京) 650(329・321)	菊地 栄樹 (広島)	岩田 歩 (広島)
成年女子	団体	長崎 永峰 沙織 早川 漣 久原 千夏	静岡 杉本 智美 竹川 佳甫 鳥居 佳世	滋賀 服部 由莉 前野 愛 西野 汐梨
	個人	永峰 沙織 (長崎) 643(324・319)	早川 漣 (長崎)	加藤 綾乃 (大分)
少年男子	団体	広島 光永 嶺 堀 大樹 木村 翔大	長崎 青島 鉄也 酒井 孝大 中島 由陽	静岡 加藤 大宙 鈴木 怜欧 辻 昇平
	個人	青島 鉄也 (長崎) 645(327・318)	戸松 大輔 (愛知)	光永 嶺 (広島)
少年女子	団体	東京 木村 美保 古川由紀乃 鈴木 日和	愛媛 小原 佳子 清水 葉奈 阿部 奈都美	兵庫 上原 瑠果 室屋 郁乃 徳田 梨彩
	個人	大橋 朋花 (岐阜) 608(300・308)	中村 美優 (北海道)	小原 佳子 (愛媛)

第72回			第1位 東京都	第1位 山形県・静岡県・福岡県	平成29年
男女総合			第2位 山形県	女子総合	第2位
愛顔つなぐえひめ国体			第3位 愛知県	第3位	愛媛県今治市
種別	区分	第 1 位		第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	神奈川	大貫 渉 大井 一輝 田畑 隼剛	愛知 野村 翼 近藤 直哉 不破 俊典	東京 佐藤 博乙 窪田 晟也 池田 亮
	個人	河田 悠希 (広島)	675(332・343)	大貫 渉 (神奈川)	大井 一輝 (神奈川)
成年女子	団体	岩手	川渚 真弓 吉田 美紅 畠山佳菜子	愛知 平 美 香 堀口 理沙 柴田 朋佳	山形 船見 真奈 富樫 郁奈 中村 美樹
	個人	川中 香緒里 (鳥取)	643(321・322)	久原 千夏 (福井)	入江 優 (岡山)
少年男子	団体	兵庫	中川 光造 岩佐 永寿 岡崎 恭輔	佐賀 畑瀬 隆嗣 井上 陸離 丸山 瑛平	山形 石川 竜也 照井 翔太 佐藤 久伸
	個人	石川 竜也 (山形)	647(321・326)	山本 陽生 (千葉)	石井 佑哉 (東京)
少年女子	団体	東京	古川由紀乃 松山菜々花 矢島 萌音	福岡 小田 楓恋 矢原 七海 野田 紗月	静岡 渡邊 麻央 中村 美兎 高橋 莉歩
	個人	渡邊 麻央 (静岡)	615(304・311)	井上 鈴夏 (大阪)	高見 愛佳 (長崎)
第73回			第1位 大阪府	第1位 埼玉県・大阪府	平成30年
男女総合			第2位 福井県	女子総合	第2位
福井しあわせ元気国体			第3位 岩手県・埼玉県・広島県・熊本県	第3位 岩手県・山形県・静岡県・岐阜県	福井県福井市
種別	区分	第 1 位		第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	大阪	鬼山 直也 古川 高晴 門澤 稜	愛知 武藤 弘樹 近藤 直哉 野村 翼	神奈川 大井 一輝 大貫 渉 田畑 隼剛
	個人	鬼山 直也 (大阪)	665(332・333)	古川 高晴 (大阪)	武藤 弘樹 (愛知)
成年女子	団体	埼玉	大澤妃奈乃 木下あすか 中西菜津子	岐阜 西村 紗芳 大橋 朋花 杉村 りな	福井 小 城 碧 久原 千夏 服部 由莉
	個人	西村 紗芳 (岐阜)	631(310・321)	大橋 朋花 (岐阜)	富樫 郁奈 (山形)
少年男子	団体	広島	伊藤 魁晟 西川 柊也 土居野 樹	千葉 根本 鷹嗣 溝口 裕也 松村 知哉	佐賀 坂本 隆道 井上 陸離 宮崎 勇斗
	個人	戸松 大輔 (愛知)	656(320・336)	伊藤 魁晟 (広島)	戸田 悠登 (熊本)
少年女子	団体	大阪	松下 千華 居樹佳奈江 上田 愛奈	静岡 渡邊 麻央 疋田 芽唯 村木 淑乃	坪倉 麻衣 鳥取 山本 志織 高島 美純
	個人	小野寺 みずき (岩手)	611(298・313)	渡邊 麻央 (静岡)	園田 稚 (大分)
第74回			第1位 大阪府	第1位 大阪府	令和元年
男女総合			第2位 広島県・山口県	女子総合	第2位 岩手県・愛媛県
いきいき茨城ゆめ国体			第3位	第3位	茨城県つくば市
種別	区分	第 1 位		第 2 位	第 3 位
成年男子	団体	大阪	古川 高晴 鬼山 直也 小野純一朗	神奈川 大井 一輝 大貫 渉 田畑 隼剛	愛知 戸松 大輔 武藤 弘樹 野村 翼
	個人	古川 高晴 (大阪)	660(326・334)	菊地 栄樹 (広島)	河田 悠希 (広島)
成年女子	団体	岩手	川渚 真弓 小野寺まどか 岩 渚 萌	大阪 杉本 智美 加藤 綾乃 川中香緒里	岡山 入江 優 居樹佳奈江 青木菜保子
	個人	堀口 理沙 (広島)	637(320・317)	杉林 りな (岐阜)	杉本 智美 (大阪)
少年男子	団体	広島	伊藤 魁晟 松川 智哉 市林 祥磨	三重 田木 亮成 佐藤 優成 普久原恵治	大阪 藤井 望 平林 真知 松見 翔太
	個人	宮成 孝輔 (大分)	627(313・314)	伊藤 魁晟 (広島)	松川 智哉 (広島)
少年女子	団体	愛媛	舟見 舞姫 小原 佳子 勝本 由奈	山口 末長 愛美 藤田 寿里 小畑 響子	長崎 高見 愛佳 朝永絵梨佳 高見 朋夏
	個人	山中乃絵留 (岐阜)	618(310・308)	舟見 舞姫 (愛媛)	高見 愛佳 (長崎)

第75回				令和2年			
燃ゆる感動かごしま国体				中 止			
				鹿児島県鹿児島市			
第76回				令和3年			
三重とこわか国体				中 止			
				三重県松阪市			
第77回		第1位 大阪府・大分県		第1位 大分県		令和4年	
男女総合		第2位		女子総合 第2位 静岡県			
いちご一会とちぎ国体		第3位 東京都		第3位 山形県・大阪府		栃木県那須烏山市	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	愛 知	戸松大輔 武藤弘樹 舟橋悠矢	群 馬	市川遼治 大塚謙史 森田伊心	東 京	平林真知 山本博司 小林 司
	個人	桑江 良斗 (山 口)	667(329・338)	古川 高晴 (大 阪)	山本 博 (東 京)		
成年女子	団体	静 岡	杉本智美 山内梓 渡邊麻央	山 形	岸塚美樹 阿部詩野 星野爽来	大 分	加藤綾乃 園田 稚 末松愛梨
	個人	中村 美優 (北海道)	661(336・325)	岸塚 美樹 (山 形)	園田 稚 (大 分)		
少年男子	団体	三 重	柴田貫嗣 畠中康有 横山佳史	岐 阜	斉藤史弥 野田慶一郎 松岡天丸	大 阪	杉山獅暁 白井航惺 加守田亮太
	個人	斉藤史弥 (岐 阜)	669(336・333)	白井 航惺 (大 阪)	柴田 貫嗣 (三 重)		
少年女子	団体	大 分	澤田こころ 石井美羽 渡邊芽吹	大 阪	三輪紗愛 和田 蒼 角絵里花	滋 賀	原田愛実 勝見麗 塩見茉央
	個人	大田 楓子 (鹿児島)	626(309・317)	吉田 光里 (岩 手)	石井 美羽 (大 分)		
特別		第1位 広島県		第1位 大分県		令和5年	
男女総合		第2位 愛知県		女子総合 第2位 広島県・福岡県			
燃ゆる感動かごしま国体		第3位 大分県		第3位		鹿児島県鹿児島市	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	愛 知	戸松大輔 武藤弘樹 舟橋悠矢	広 島	河田悠希 伊藤魁晟 住谷和輝	神奈川	奥村礼矢 大貫 渉 瀬川 楼介
	個人	河田 悠希 (広 島)	682(338・344)	青島 鉄也 (長 崎)	武藤 弘樹 (愛 知)		
成年女子	団体	広 島	堀口理沙 檜本邑里 森帆乃花	大 分	園田 稚 加藤綾乃 朝久野奈波	京 都	安久詩乃 林 勇 気 上野百百子
	個人	園田 稚 (大 分)	664(333・331)	杉本 智美 (静 岡)	安久 詩乃 (京 都)		
少年男子	団体	福 岡	吉村知弥 井上 岳 高田顕照	愛 知	大木倭 山本雄大 堀尾慶太	大 阪	白井航惺 高井志道 富吉優心
	個人	白井 航惺 (大 阪)	657(331・326)	阪尾 尚優汰 (岐 阜)	松岡 天丸 (岐 阜)		
少年女子	団体	大 分	澤田こころ 石井美羽 渡邊芽吹	大 阪	和田 蒼 泉 華 蓮 今井希海	山 口	河村笑莉 小川歩海 小泉千咲
	個人	今井 希海 (大 阪)	649(328・321)	和田 蒼 (大 阪)	五関 暁子 (東 京)		
第78回		第1位 滋賀県		第1位 滋賀県		令和6年	
男女総合		第2位 大阪府・大分県		女子総合 第2位 大分県			
SAGA2024国スポ		第3位		第3位 静岡県		佐賀県鹿島市	
種別	区分	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
成年男子	団体	愛 知	戸松大輔 武藤弘樹 舟橋悠矢	広 島	河田悠希 青島鉄也 伊藤魁晟	岐 阜	斉藤史弥 澤田つくし 阪尾尚優汰
	個人	斉藤 史弥 (岐 阜)	675(336・339)	舟橋 悠矢 (愛 知)	河田 悠希 (広 島)		
成年女子	団体	静 岡	杉本智美 山内梓 渡邊茉央	滋 賀	原田愛実 勝見麗 塩見茉央	大分	園田 稚 朝久野奈波 渡邊芽吹
	個人	朝久野 奈波 (大 分)	663(328・335)	園田 稚 (大 分)	野田 紗月 (福 岡)		
少年男子	団体	神奈川	武内俊秀 浦田唯 渡邊光希	富 山	道添光輝 橘鼓太朗 白川 仁	千 葉	関口滉都 チャンブレンダン 倉田遼平
	個人	浦田 唯 (神奈川)	653(326・327)	高井 志道 (大 阪)	茶畑 颯士 (兵 庫)		
少年女子	団体	滋 賀	吉田結希乃 長谷川綾音 佐々木心音	大 分	石井美羽 小野翔音 澤田こころ	大 阪	今井希海 胡田心菜 徳山晃以
	個人	今井 希海 (大 阪)	649(326・323)	黒田 彩夏 (愛 媛)	佐々木 心音 (滋 賀)		

国 体 ・ 国 ス ポ 記 録

(2005 年 第 60 回大会以降)

種 別	種 目	選手名	所 属	記 録	大会名
少年女子	70m ラウンド(72 射)	今井 希海	大阪府	649	特別鹿児島国体
	TEAM (3 名×72 射)	今井 希海	大阪府	649	特別鹿児島国体
		和 田 蒼		628	
		泉 華蓮		617	
成年女子	70m ラウンド(72 射)	川 中 香 緒 里	鳥取県	667	第 69 回長崎国体
	TEAM (3 名×72 射)	朝久野 奈 波	大分県	663	第 78 回佐賀国スポ
		園 田 稚		657	
		渡 邊 芽 吹		629	
少年男子	70m ラウンド(72 射)	斉 藤 史 弥	岐阜県	669	第 77 回栃木国体
	TEAM (3 名×72 射)	河 田 悠 希	広島県	667	第 70 回和歌山国体
		泉 雄 也		661	
		奥 勇 登		640	
成年男子	70m ラウンド(72 射)	河 田 悠 希	広島県	682	特別鹿児島国体
	TEAM (3 名×72 射)	舟 橋 悠 矢	愛知県	673	第 78 回佐賀国スポ
		武 藤 弘 樹		664	
		戸 松 大 輔		663	

日 本 記 録【アウトドア・リカーブ部門】

オリンピックラウンド

2025 年 7 月 31 日現在

種 別	種 目	選手名	所 属	記 録	日付
U21 女子	70m ラウンド	鈴木 さくら	同志社大学	679	2024/5/12
	TEAM (3 名×72 射)	今井 希海	日本	663	1950 2025/2/18
		渡邊 芽吹		654	
		渡邊 麻央		633	
一般女子	70m ラウンド(72 射)	杉本 智美	大阪府	684	2024/6/23
	TEAM (3 名×72 射)	野田 紗月	日本	668	1993 2024/5/22
		園田 稚		651	
		上原 瑠果		674	
U21 男子	70m ラウンド(72 射)	戸松 大輔	学ア連	687	2019/9/14
	TEAM (3 名×72 射)	舟橋 悠矢	近畿大学	665	1979 2022/6/18
		古谷 溪太		662	
		宮成 孝輔		652	
一般男子	70m ラウンド(72 射)	古川 高晴	大阪府	692	2018/11/13
	TEAM (3 名×72 射)	岩田 歩	チーム エディオン	681	2031 2020/7/26
		河田 悠希		680	
		菊地 栄樹		670	

世 界 記 録

オリンピックラウンド

2025 年 7 月 31 日現在

種 別	種 目	選手名	所 属	記 録	日付
U21 女子	70m ラウンド(72 射)	NAM SUHYEON	KOREA	688	2024/7/25
	TEAM (3 名×72 射)	SUHYE JO	KOREA	2004	2023/6/6
		JO HANYI			
		HAN SOL			
一般女子	70m ラウンド(72 射)	LIM SIHYEON	KOREA	694	2024/7/25
	TEAM (3 名×72 射)	CHANG HYE JIN	KOREA	2053	2018/5/21
		KANG CHAE YOUNG			
		LEE EUN GYONG			
U21 男子	70m ラウンド(72 射)	METE GAZOZ	TURKEY	698	2019/4/9
	TEAM (3 名×72 射)	JI YECHAN	KOREA	2024	2024/6/6
		CHOI CHULJUN			
		PARK EUN SUNG			
一般男子	70m ラウンド(72 射)	BRADY ELLISON	U.S.A	702	2019/8/7
	TEAM (3 名×72 射)	IM DONG HYUN	KOREA	2087	2012/7/27
		KIM BUBMIN			
		OH JIN HYEK			

関係機関・大会関係連絡一覧

<実行委員会事務局>

名 称	所 在 地	電話番号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 愛荘町実行委員会事務局	愛荘町愛知川 72 番地	0749-42-8015

<競技会場>

名 称	所 在 地	電話番号
愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	愛荘町軽野甲 100 番地	0749-37-3383

<警察>

名 称	所 在 地	電話番号
東近江警察署	東近江市八日市緑町 26 番 18 号	0748-24-0110

<消防>

名 称	所 在 地	電話番号
愛知消防署	東近江市小八木町 16 番地	0749-45-4119

<医療機関>

名 称	所 在 地	電話番号
医療法人社団 昂会 湖東記念病院	東近江市平松町 2 番地 1	0749-45-5000
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター	東近江市五智町 255	0748-22-3030

<滋賀県医療機関情報・救急医療情報システム>

名 称	U R L	Q R
医療ネット滋賀	https://www.shiga.iryō-navi.jp	

愛荘町スポーツセンターと 愛荘町立中央スポーツ公園 の間で シャトルバス を随時運航します！



● 競技会場

愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド(愛荘町軽野甲 100番地)

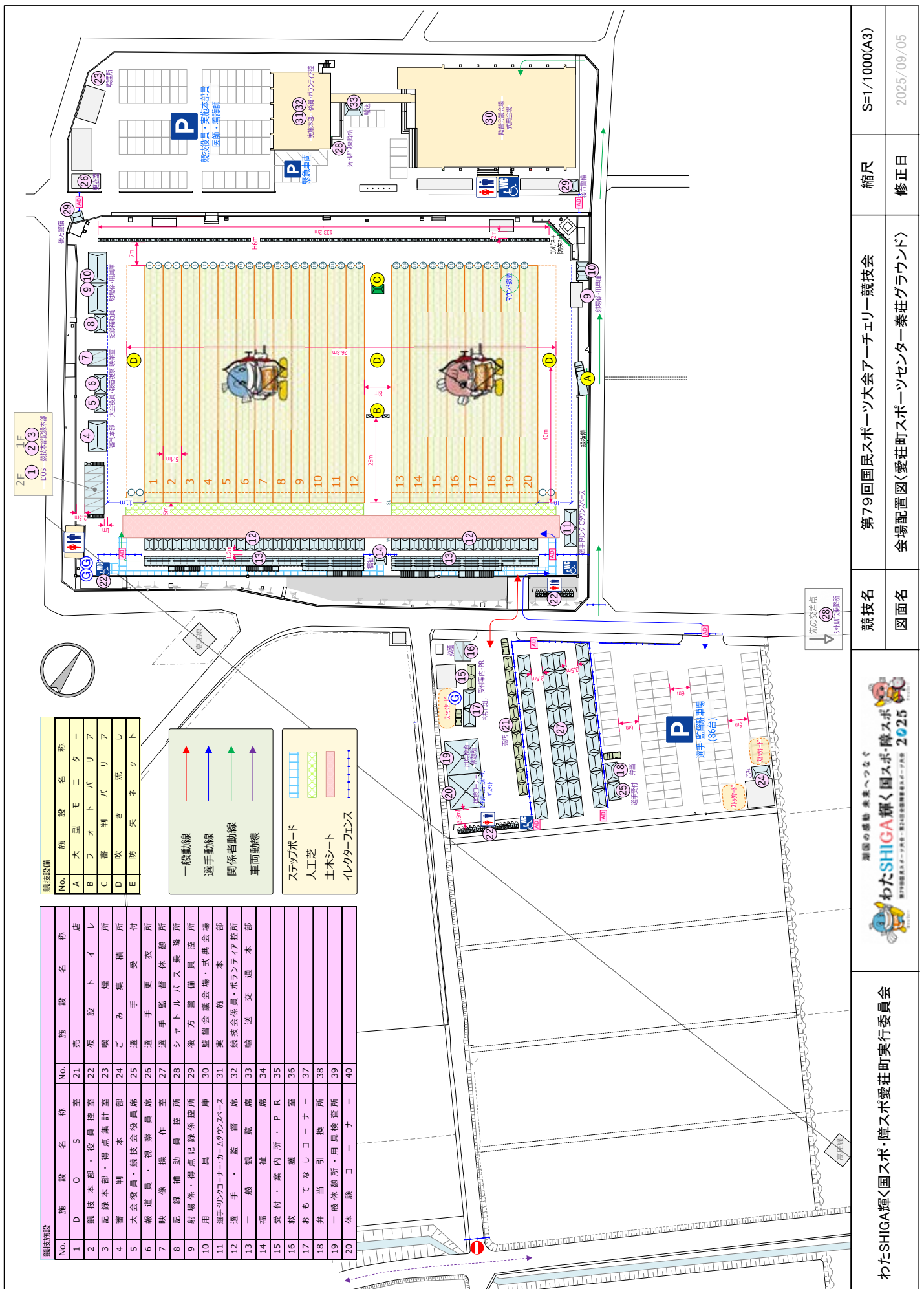
● 練習会場

愛荘町立中央スポーツ公園アーチェリー場(愛荘町川久保 145番地)

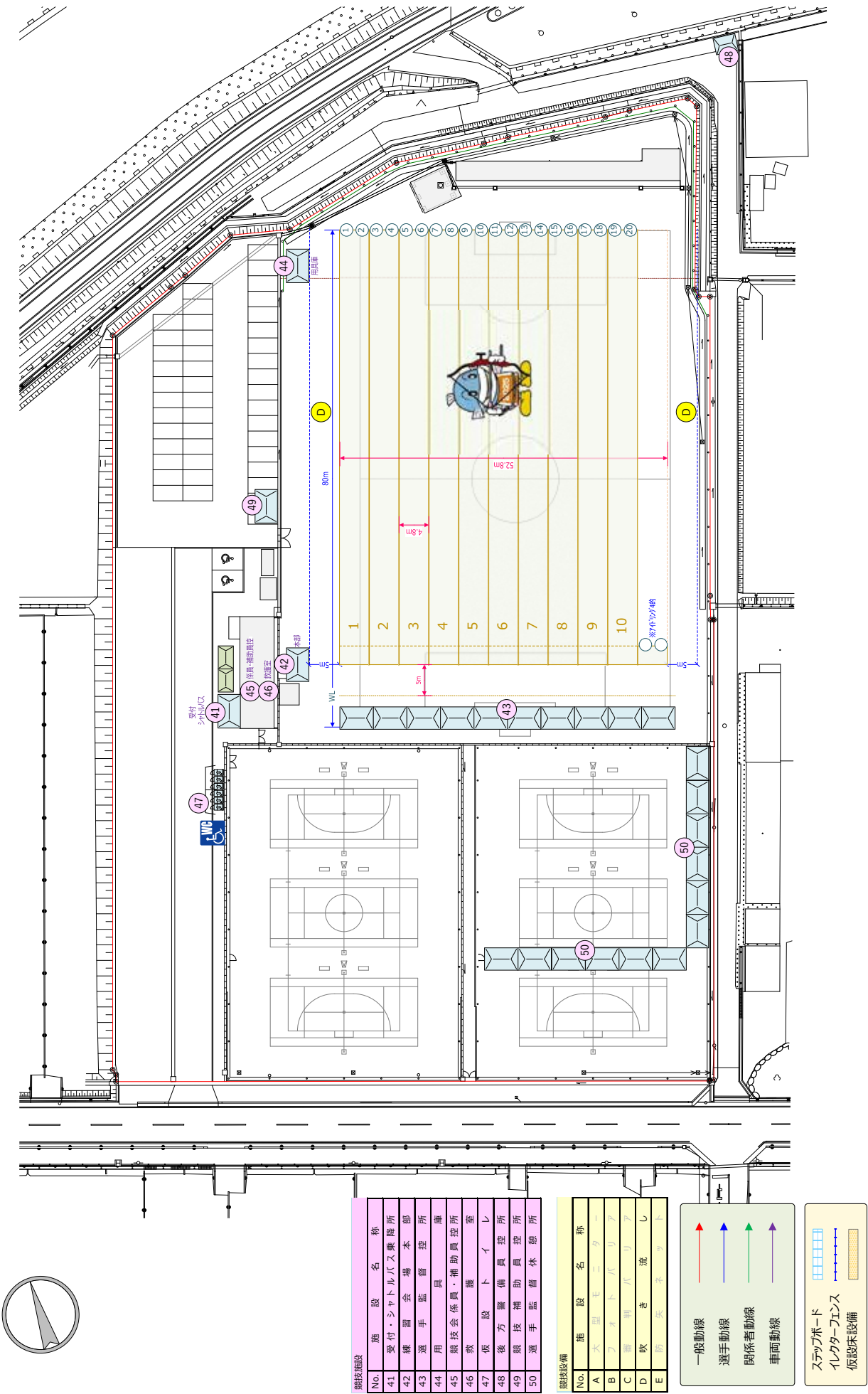
シャトルバスの時刻はこちらのQRコードからご確認ください



競技会場案内図



練習会場案内図



わたたSHIGA輝く国スポ・障スポ愛荘町実行委員会



競技名 第79回国民スポーツ大会アーチェリー競技会

図面名 会場配置計画(愛荘町中央スポーツ公園)

縮尺

S=1/600(A3)

修正日

2025/08/07

2025

わたSHIGA輝く国スポ・障スポアーチェリー競技会

開催に向け御協賛いただきました企業の皆様



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こります。



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



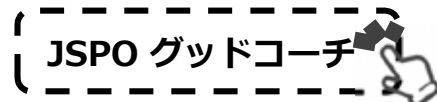
JSPO事業についてはこちら»»»JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

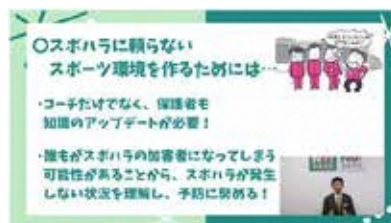


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で実施）>



「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。
今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続により、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構



挑戦者たちは越えようとする。
記録を。ライバルを。自分自身を。
過去の常識も。世界の価値観さえも。
挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
これまでも、そしてこれからも、
わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
スポーツの持つ様々な可能性で、
望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



大塚製薬



三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

セレスポ

時事通信

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

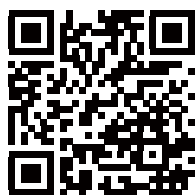
2025



記録速報配信サイト

下記の記録速報掲載専用サイトにおいて
確認していただくことができます。

※ 記録速報は PDF 形式で掲載いたしますので、PDF が閲覧できる環境が必要です。



スマートフォン・携帯電話の方は
左の二次元バーコードを読み取って今すぐアクセス！

以下のURLよりアクセスしてください。

<https://www.fs-sports.jp/ac/2025kokutai>

●用紙: 責任ある木質資源や再生資源を使用したFSC® 認証用紙
●インク: 植物性インクを使用

愛 荘 町 の 伝 統

金剛輪寺

鎌倉時代を代表する和様建造物として国宝に指定されています。堂内には秘仏生身の本尊聖観音菩薩をはじめ、阿弥陀如来像、十一面観音立像など14体の国の重要文化財の仏像が安置され、三重塔、二天門も国の重要文化財の建造物です。



愛知川びん細工手まり



フラスコ型のガラス瓶に、びんの口よりも大きな手まりを入れた不思議な工芸品。滋賀県伝統的工芸品に指定されています。繊細で美しい愛知川びん細工手まりは、「丸くて(家庭円満)、中がよく見える(仲良く)」と、新築や結婚祝いの贈り物に喜ばれています。

近江上布

最高級の女性用の夏着尺として愛用され、また、現代にマッチした地域ブランドである麻織物「近江の麻」「近江ちぢみ」は、洋服地をはじめ、タペストリーなどのインテリア、テーブルウェアに用いられています。麻織物のしなやかな風合いと涼感注目を集め、人気を呼び、国の伝統的工芸品にも指定されています。



競技記録結果

第79回国民スポーツ大会の正式競技、特別競技の競技記録結果を掲載しています。

競技記録・速報URL

PC・スマホ

<https://kirokokensaku.net/5NS25/index.html>

[二次元コードはこちら](#)



ガラケー(フィーチャーフォン)

<http://kirokokensaku.net/5NS25/mob/index.html>

[二次元コードはこちら](#)

